

移住・二地域居住等促進専門委員会 委員提出資料

- 第1回専門委員会 井上委員発表資料…1p
- 第1回専門委員会 高瀬委員発表資料…17p
- 第1回専門委員会 森田委員発表資料…33p
- 第1回専門委員会 田澤委員資料…49p
- 第2回専門委員会 森田委員資料…51p

移住・二地域居住についての考察

2023年10月19日

株式会社日本総合研究所創発戦略センター
エキスパート 井上岳一



自己紹介

■ 職歴

- 1969年 神奈川県藤沢市生まれ
- 1994年 林野庁
- 2001年 Cassina IXC
- 2003年 日本総合研究所

■ 公職等

- 内閣府規制改革推進会議専門委員
(地域産業活性化WG)
- 福島県南相馬市復興アドバイザー
- 香川県観音寺市政策アドバイザー
- 武蔵野美術大学客員研究員・特別講師

- JR東日本WaaS共創コンソーシアム
ステアリングコミッティ委員

※2013年、神奈川県二宮町（消滅可能性都市）に移住



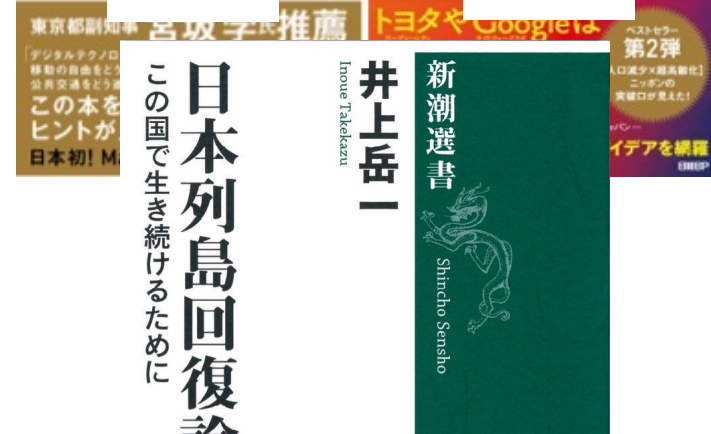
2017

2018



2018

2020



日本列島回復論

井上岳一

Shincho Sensho



2019

山水郷チャンネル

GOOD DESIGN Marunouchi

95本の動画 9,052回視聴 最終更新日: 2023/08/15



▶ すべて再生



山水郷チャンネル #90 家成俊勝さん（建築家・株式会社ドットアーキテクト 代表）



山水郷のデザイン2

3つのコンヴィヴィアリティ

Design of SANSUIGO 2

Three cases of conviviality

2022年7月15日(金) - 8月14日(日)



山と水と人の恵み豊かな地域で



山



水



郷

(サト・ムラ)

山と水と人が織りなす豊かな関係世界を回復し
山と水と人の恵みを価値に変えることに挑戦する若者達



編集/デザイン/アート/写真/映像/音楽/IT等に長け
複数の仕事を越境する「クリエイティブ百姓」達



2023.10.6 FRI - 10.8 SUN

ECHIZEN SABAE, FUKUI

CONTENTS

FACTORY AND SHOP TOUR / WORK SHOP/

TALK EVENT / TRAVEL STAND / LOCALISM EXPO /

LOCAL FOOD / CRAFT EVENT...and more

リニュー

RENEW / 2023

来たれ若人、ものづくりのまちへ



写真：RENEW事務局



5

写真：TSUGI

「じゃない人」の若き移住者と中高年ネイティブの協働

新山 エム
1985年、大阪生



谷口 エム
1959年、鯖江生



森 エム
1991年、山形生





真鶴出版
MANAZURU PUBLISHING



移住者が町の見方を変え、
誇りを回復した神奈川県真鶴町

真鶴町まちづくり条例
美の基準
Design Code



真鶴町



知識産業は極端な東京一極集中

産業別_東京、神奈川、愛知、大阪に占める従業者割合



※情報通信業

通信、放送、IT（ソフトウェア・インターネット）、映像・音声・出版・広告

出所：大正大学中島ゆき「IT産業の東京一極集中の現状」より転載。
元データは、「平成26年経済センサス-基礎調査 事業所に関する集計」



ネットを駆使して 点をつなぐドット道東



どこまでもひろがる、空と大地。北海道の、特に自然あふれる東側で、ひとりの人間は、まるで小さな点のよう。「地域を盛り上げる」と言葉で言えば簡単ですが、ぶつかる壁に、ふと立ち止まってしまうときもあります。活動をより広く、続くものとするために、私たちは、点と点を、つないでいくことをはじめます。小さく、離れた点だからこそ、つながり合えば、大きな面となる。道東を、どっと大きく、どっと近くに。わたしたちは、まだ、どんなカタチにもなれる。

点がつながる。
道東のあたらしい
輪郭になる。

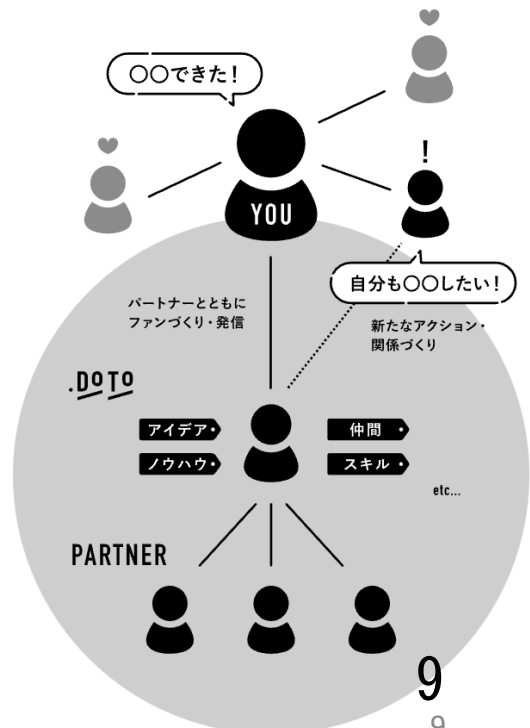
”DOTO-NET”で 道東を豊かにする。

道東を豊かにするための活動を中心に、
知識やスキルを持ったパートナーとともに伴走。

魅力的な活動は新たなファンや仲間を生み出し、
点と点をさらにつなげる。

そして道東中に広がるネットワークになる。

理想を実現するための”DOTO-NET”は、
理想を実現するほど大きくなっていく。



山水郷的なWell-beingの構造



移住者の役割

- 再評価/再価値化する
- 再コモンス化/コモンスのアップデート

自然

(恵み・災い)

安心
革新
財貨
喜悦
祝祭

今人

(世間・社会)

- 都市とつなぐ資源をもたらす
- コミュニティを開く/アップデートする



個人

希望

(子孫・未来)

- 子を増やす
- 託される

- 再発見/再評価する
- 引き受ける

自信
誇り

(歴史・伝統)



自律協生社会のイメージ
(Convivial Society)

住民の自治

個々の
自治体の
サービス

自律的・主体的な個の
協生 = 力合わせ



産官民で共につくる
和気藹々とした「公共」



みんなの本領発揮

企業の
ビジネス



自律協生社会の実現に向けた共同研究を武蔵野美術大学と日本総研は開始



自律協生スタジオ
CONVIVIAL DESIGN STUDIO



自律協生スタジオ「コンヴィヴィ」は
共に生きる喜びに満ちた社会の実現を
目指して研究・実践・創造する
産学協働の拠点です。

課題より可能性に目を向け
見過ごされてきた宝に光と役割を与え
ドキドキ、ワクワク、ハラハラしながら
対話し、表現をし、力を合わせて
新しい風景を共に創造しましょう。



自律協生スタジオ
CONVIVIAL DESIGN STUDIO

フィールドワークの実施状況

■ 三地域のフィールドワークを毎月実施

和歌山県田辺市 (1月～)

人口	6.7万人
市域	1,027km ²
人口密度	65.1人/km ²
森林率	88%

北海道森町 (12月～)

人口	1.6万人
市域	368km ²
人口密度	38.9人/km ²
森林率	76%

熊本県天草市 (10月～)

人口	8.3万人
市域	683km ²
人口密度	105人/km ²
森林率	68%

他にスポットのフィールドワークを以下で実施

- 北海道津別町 (ローカルメディア)
- 宮城県仙台市 (コミュニティアーク)
- 富山県南砺市 (ものづくりとまちづくり)
- 愛知県岡崎市 (森とまちづくり)
- 鹿児島県霧島市、鹿児島市 (食とまちづくり)



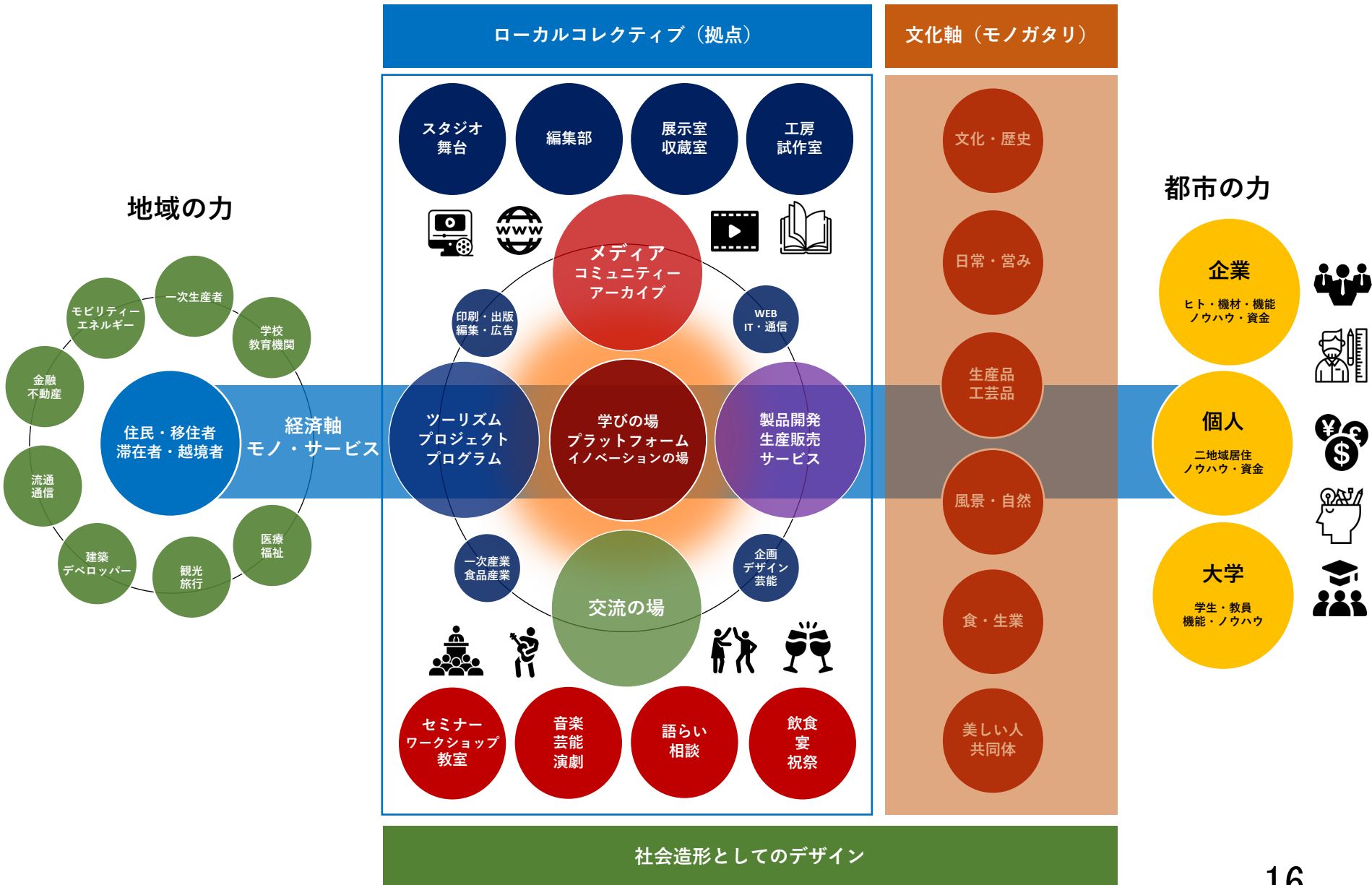


森町を楽しく盛り上げる変態たちがつながり合う場です。変態は英語ではトランスフォーメーション。変態は1人だと変態のままだけど、つながり合えば森町を変革するトランスフォーマーになる！

オニウシ変態解放区



目標は「ローカルコレクティブ」の育成を通じた「地域力」の強化



国土審議会 推進部会 移住・二地域居住等促進専門委員会

STS Inc. 代表取締役

高瀬 直史

47歳

- 総務省地域力創造アドバイザー
- 一般財団法人地域活性化センターフェロー
- 高知県UIターンサポートセンターアドバイザー
- 四万十町地方創生アドバイザー
- 一般社団法人Local&community lab 理事

【経歴】

- 1976年 高知県十和村(四万十町)生まれ
- 2000年 (株)USENブロードネットワークス退社
- 2004年 (株)RKC高知放送退社
- 2004年 旧十和村役場入庁
- 2006年 市町村合併により四万十町役場職員となる
- 2021年3月末 四万十町役場退職

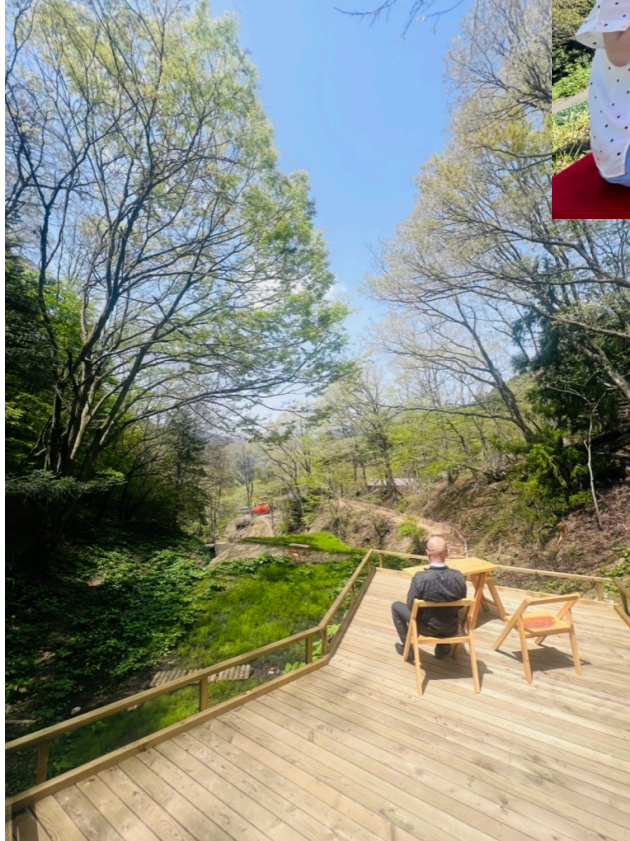
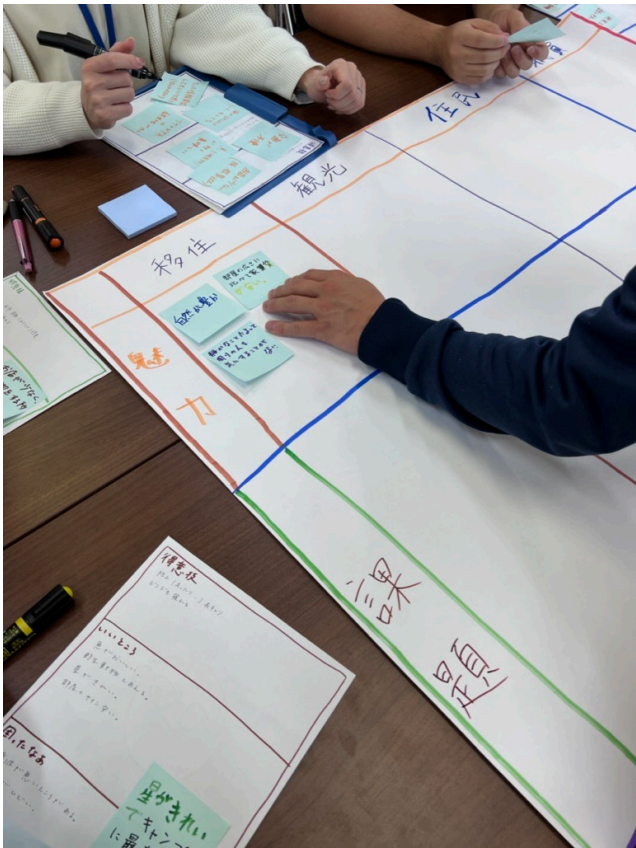
【実績】

- 2013年～2014年 地域づくり担当(集落活動センター立ち上げ等)
- 2013年～2021年 地域おこし協力隊業務担当(企画課→まちづくり戦略室→にぎわい創出課)
- 2015年～2021年 移住業務担当
- 2016年～2021年 シティプロモーション業務担当
- 2020年～2021年 四万十ヒノキブランディング業務担当
- 2019年～現在 一般社団法人Local&community lab 理事



- ▷高知県大月町職員研修
- ▷高知県東洋町プロモーション
- ▷高知県梶原町プロモーション
- ▷高知県津野町移住プロモーション
- ▷高知県内34市町村移住施策支援

- ▷高知県黒潮町観光拠点再建事業
- ▷店舗ブランディング
- ▷プロテイン商品開発
- ▷滞在型市民農園(クラインガルテン四万十)管理



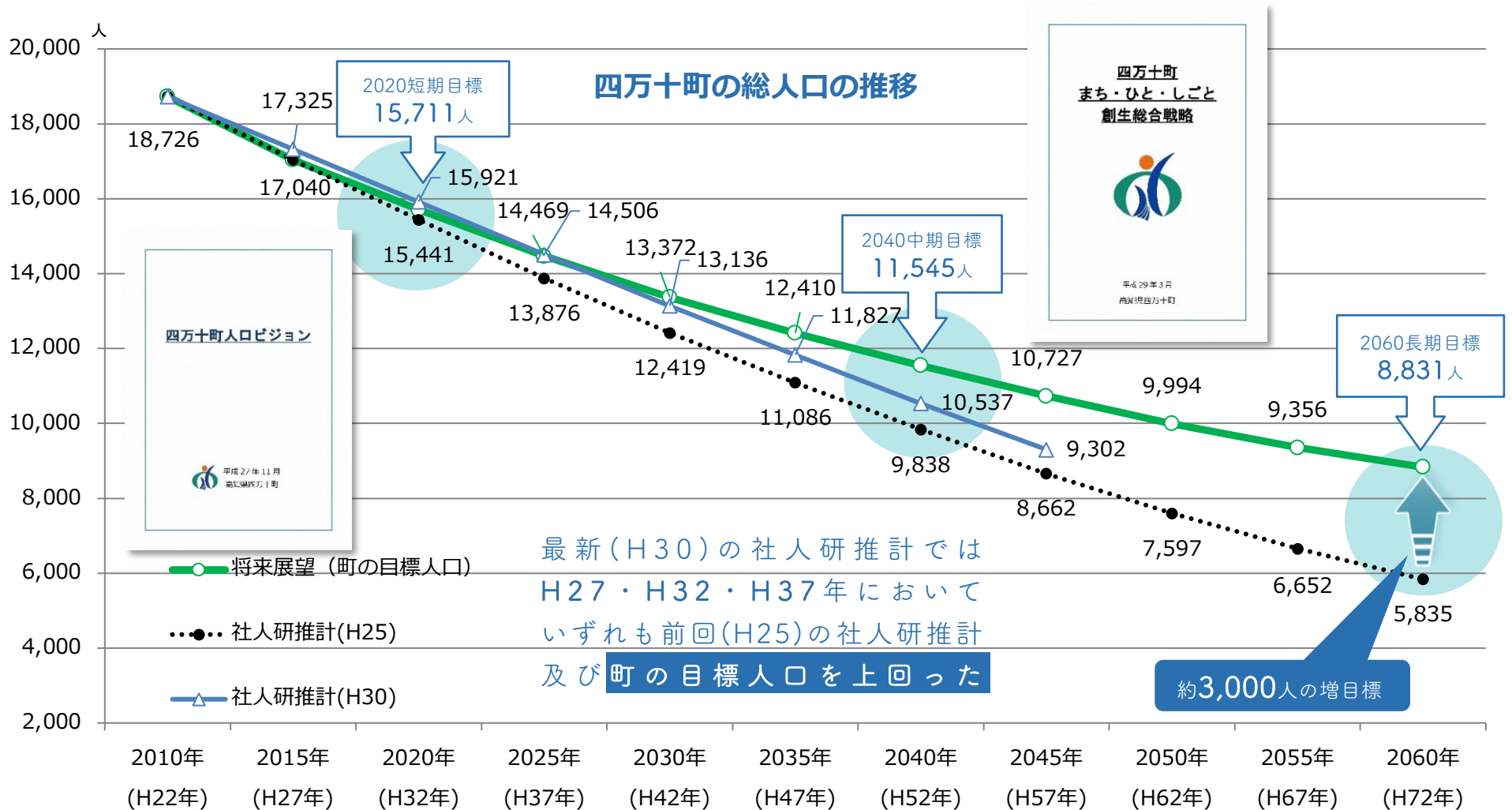
四万十町での取り組みについて

四万十町の人口

四万十町人口ビジョン / III. 本町の将来展望 / (4) 人口の将来展望 / ②短期・中期・長期の目標人口

(平成27年11月策定)

■国立社会保障・人口問題研究所(通称:社人研)が公表した推計人口の…
 「計画策定(目標設定)時における推計人口(平成25(2013)年推計)」と「最新の推計人口(平成30(2018)年推計)」の比較



にぎわい創出課 移住定住係

- ① 四万十町の魅力発信
- ② 空き家の調査・空き家情報の発信
- ③ お試し滞在施設(お試し滞在住宅、クラインガルテン四万十)の管理運営
- ④ 移住定住住宅(中間管理住宅、移住支援住宅等)の管理運営
- ⑤ 移住定住各種補助制度の整備
- ⑥ 四万十町東京オフィスの運営 (平成30年6月1日～令和3年3月31日)
- ⑦ 地域おこし協力隊全般
- ⑧ その他



① 四万十町の魅力発信



facebook 高知県四万十町 ~しあわせしまんとせいかつ~

1,933 フォロワー

四万十町フェイスブックで検索！



Instagram shimanto_town_official

7,511 フォロワー

四万十町インスタで検索！



YouTube 四万十町公式YouTubeチャンネル

チャンネル登録者数 995

四万十町ユーチューブで検索！

🕒 三島の初夏 田植え



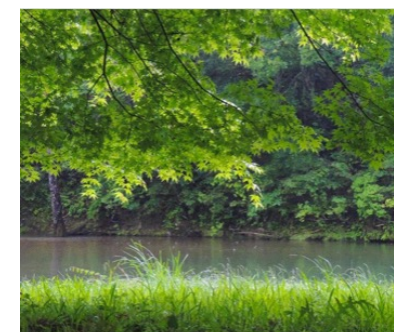
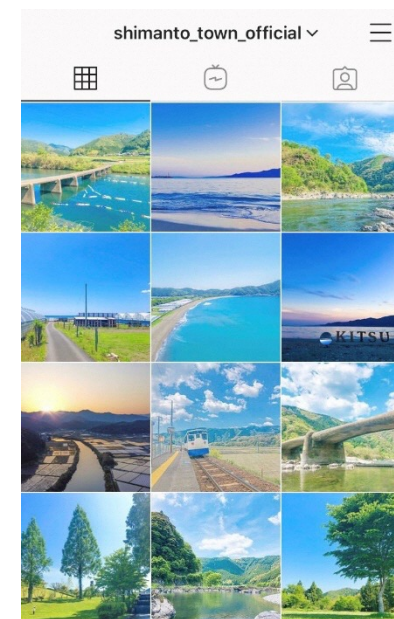
🕒 ジップライン



🕒 川遊びの楽園



🕒 こいのぼりの川渡し



インサイトを見る 宣伝

👍👤 lifeisphoto.jpさん、他454人が「いいね！」しました

shimanto_town_official 雨の中ですが、見えない世界がある。🌿

#雨の日も楽しく
#しあわせしまんとせいかつ

② 空き家の調査・空き家情報の発信

相談・情報提供

- 移住相談への対応
(移住相談員の配置等)
- 空き家調査及び情報提供
(町内不動産業者との連携)



☞ 移住相談実績

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
相談件数	50	102	134	555	701	195	227	195	200	206
うち、県外	40	80	110	263	339	149	173	134	147	116

☞ 空き家情報 (R3.03.31現在)

平成23年からの10年間で**201**件登録 (町HPによる情報提供)

▶ 全町的に**空き家調査**を実施

▶ 空き家調査結果を基にした**現地調査**

▶ 町内の**不動産業者**と連携して、不動産業者の把握する物件情報を提供



全戸数 (非木造、共同住宅は除く) : 7,397棟
 居住住宅 : 6,394棟 (未耐震 : 4,018棟)
 空家住宅 : 1,003棟 (活用可能 : 812棟)



10年間で…

201件登録



③ 移住施設 (お試し滞在住宅、中間管理住宅、移住支援住宅等) の管理運営

お試し滞在施設

- **お試し滞在住宅の整備**
(移住お試し用短期滞在施設)
- **滞在型市民農園の整備**
(農業体験型短期滞在施設)



- ☞ **お試し滞在住宅**
対象者：将来移住を検討している方
利用期間：1~3か月(3戸)
 : 1~6か月(2戸)
- ☞ **滞在型市民農園**
入居期間：1年間(最長3年)
物件数：滞在型 22区画
 日帰り型 16区画

☞ お試し滞在住宅利用状況

年度 件数	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	計
利用 人数	5	18	20	17	15	13	8	15	12	123
移住 実績 (人)	0	6	1	0	5	8	3	6	2	31

移住希望者にとって、新たな土地へ移り住むことは期待と同時に**大きな不安**がある。



お試し滞在住宅 の整備
滞在型市民農園 の整備



短中期的に本町を体験してもらうことで、**まちの魅力を直接感じてもらう**とともに、**不安を解消し、移住のきっかけ**へと繋げていく。

4 移住定住住宅 (移住支援住宅、中間管理住宅) の管理運営

移住支援住宅

・移住定住希望者用住宅
(中長期貸付住宅)

中間管理住宅



☞ 移住支援住宅

対象者：移住希望者限定

入居期間：2年間

物件数：6戸

☞ 中間管理住宅

対象者：移住・定住希望者用

入居期間：2年間 (更新可)

物件数：31戸



移住支援住宅

入居対象者

▶ 移住希望者限定

入居期間

▶ 2年間

家賃

▶ 2DK：月額 23,000円 (4戸)

▶ 4LDK：月額 38,000円 (2戸)

物件数

▶ 6戸

中間管理住宅

入居対象者

▶ 移住・定住希望者

入居期間

▶ 2年間

家賃

▶ 月額 17,000円～ 38,000円

物件数

▶ 55戸 (令和5年度末)

中間管理住宅とは

空き家所有者と四万十町が賃貸借契約（12年間）を締結し、移住・定住希望者へ賃借する住宅



改修費用：1,000万円の場合

▶ 財源

- 国 費：500万円 50% 空き家対策総合支援事業補助金
- 県 費：250万円 25% 空き家活用促進事業補助金
- 過疎債：180万円 ※一般財源の75%⇒うち、70%は交付税措置
- 一 財：70万円

実質負担額約125万円





⑤ 移住定住各種補助制度の整備

移住促進

- ▶ 四万十町移住体験ツアー助成金 25千円/1人、50千円/1世帯
- ▶ 移住促進家賃支援事業補助金 15千円 × 12月
- ▶ 空き家活用（改修）補助金 上限1,824千円

定住促進

- ▶ 若者定住支援事業補助金 上限1,000千円
- ▶ 家族支え合い支援事業補助金 上限1,000千円

関連メニュー

- ▶ 町産材活用利用促進助成事業補助金 上限1,500千円
- ▶ 老朽住宅除却事業補助金 上限1,028千円
- ▶ 浄化槽設置整備事業補助金 ※上乗せ加算分含む . . . 最大1,388千円
- ▶ 就農支援補助金（新規就農／後継者支援／次世代人材投資／壮年就農）

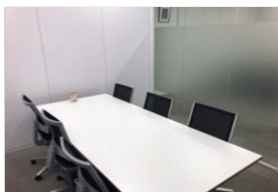
6 四万十町東京オフィスの運営

四万十町と首都圏のパイプ役を担うオフィスの開設

四万十町東京オフィスの意義

- ・これまでのしくみに捉われない、横断的な情報発信を行う
- ・首都圏と四万十町を結ぶパイプ役
- ・将来的なアンテナショップ出店などの調査拠点
- ・首都圏ニーズのマーケティング拠点
- ・四万十町応援女子部の活動拠点

(株)ぱどは、事務局とし都内各機関とも連携しつつ、より四万十町に特化した情報発信を行う



【事務局としての役割】

- ①首都圏での関連施設の役割の明確化
- ②さまざまな地域での成功事例の調査、及びフィードバック
- ③首都圏での移住ニーズの把握、及び関連施設との情報共有
- ④四万十町Uターン促進のために、関係者同士の連絡補助
- ⑤四万十町の都内でのイベント情報などのスピーディーな発信
- ⑥各種打ち合わせスペースとしての活用 等、

県外での四万十町ファンの発掘とつながりを継続する仕組みづくり

四万十町応援店の開拓及び四万十町オフ会の実施

①四万十町応援店の開拓

四万十町応援店にご協力いただける店舗を開拓。応援店にはイベント広報や情報発信についての協力を要請。



②四万十町食材の紹介とメニューの開発

事前に四万十町産の食材を応援店舗に提供し、キャンペーンメニュー開発を行う。



③オフ会イベントの開催

イベントでは、四万十町の観光や特産品の紹介のほか、特産品を使ったスペシャルメニューの試食を行い、話題性を持たせます。参加者は四万十町(高知県)出身者、四万十町にゆかりのある人、応援女子部等を想定。



④SNS、フリーペーパーでの情報発信

オフ会イベント後には、参加した応援女子部のメンバーにSNSで拡散してもらうほか、四万十町関連のFacebookページを参加者にフォローしてもらい、イベントが一過性で終わらないよう、四万十町と接点をもち続けられる工夫を盛り込む。



四万十町食材の販路拡大と四万十町の認知度UP

四万十町ファンコミュニティの運用と情報拡散

①四万十町応援女子部創設

地域の魅力を発信する女性組織「ニッポン応援女子部」の中から、四万十町の魅力を発信するインフルエンサー「四万十町応援女子部」を20名選出。情報サイトやSNSでの情報発信、誌面モデルとして活躍していただく。

②四万十町応援女子部活動イベント開催

選出した「四万十町応援女子部」メンバーの発表を、四万十町東京オフィスの記者発表に合わせ実施。また、「四万十町応援女子部活動」と題し、広報活動や成果の共有を行うとともに、四万十町出身者との交流会を四万十町応援店で開催。

③応援女子部による四万十町取材ツアー

「四万十町応援女子部」が、四万十町の特産品や観光資源を発信するための現地取材を年2回実施。実際に現地に行った人にかかわらないリアルな目線で四万十町の魅力を掘り下げていく。※取材ツアー終了後に、行程ごとの良かった点、悪かった点を、報告書にまとめる。

④取材時のリアルな感想をWEB、SNSで拡散

現地取材ツアー実施時には、インスタを中心に一日平均5投稿程度/人程度の情報発信をしながらユーザーの興味関心を把握し、今後のPRにつなげる。また、インスタ、FBページなどを開設し、地元の人などにも投稿してもらえらる仕組みを構築し、移住情報サイトとの連動も図っていく。

⑤ラーラぱどへの取材ツアーレポート掲載

首都圏OLに人気のフリーペーパー「ラーラぱど」で、年2回の取材ツアーの様子をレポート形式で掲載。各回全4ページを使って四万十町を大々的に特集し、訴求していく。また、同レポート記事をWEB用に再編集し、ラーラぱどWEBに掲載するほか、移住情報サイトのコンテンツとして提供してもらう。

交流人口、関係人口の増加をはかり、将来的な人口増加、地域経済の拡大につなげる

⑦ 地域おこし協力隊制度の活用

地域おこし協力隊導入のきっかけ

四万十町の現状及び課題

- ▶ 少子高齢化の進行が著しい
- ▶ コミュニティの維持が困難
- ▶ 地域資源の有効な活用方法



導入後の効果

- ▶ 隊員が定住することによる人口増加
- ▶ 地域のリーダーとなれる人材の確保
- ▶ 地域資源の活用方法の提案



地域おこし協力隊導入状況 2

応募総数

199名

← 全国有数の応募者数

採用者数

66名

高知県内では佐川町に次いで2番目の多さ



理由

- ▶ 「四万十」というネームバリュー
- ▶ 協力隊自らが四万十町の魅力を発信するHPやinstagram、Facebookを開設
- ▶ 四万十町の魅力発信の取り組みによる効果



ポストコロナの新しい
働き方・住まい方・移動のありかた

2023年10月19日

合同会社うさぎ企画
代表 森田創

森田 創（もりた そう）

1974年5月21日、神奈川県川崎市出身

1999年4月、大手鉄道会社入社。

- ・海外事業／オーストラリア都市開発（3年）
- ・社内ベンチャー制度によるフィルムコミッション立ち上げ（3年）
- ・都心駅直通のミュージカル劇場の開業責任者（7年）
- ・広報課長（4年）
- ・伊豆半島での日本初「観光型MaaS」立ち上げ（3年）

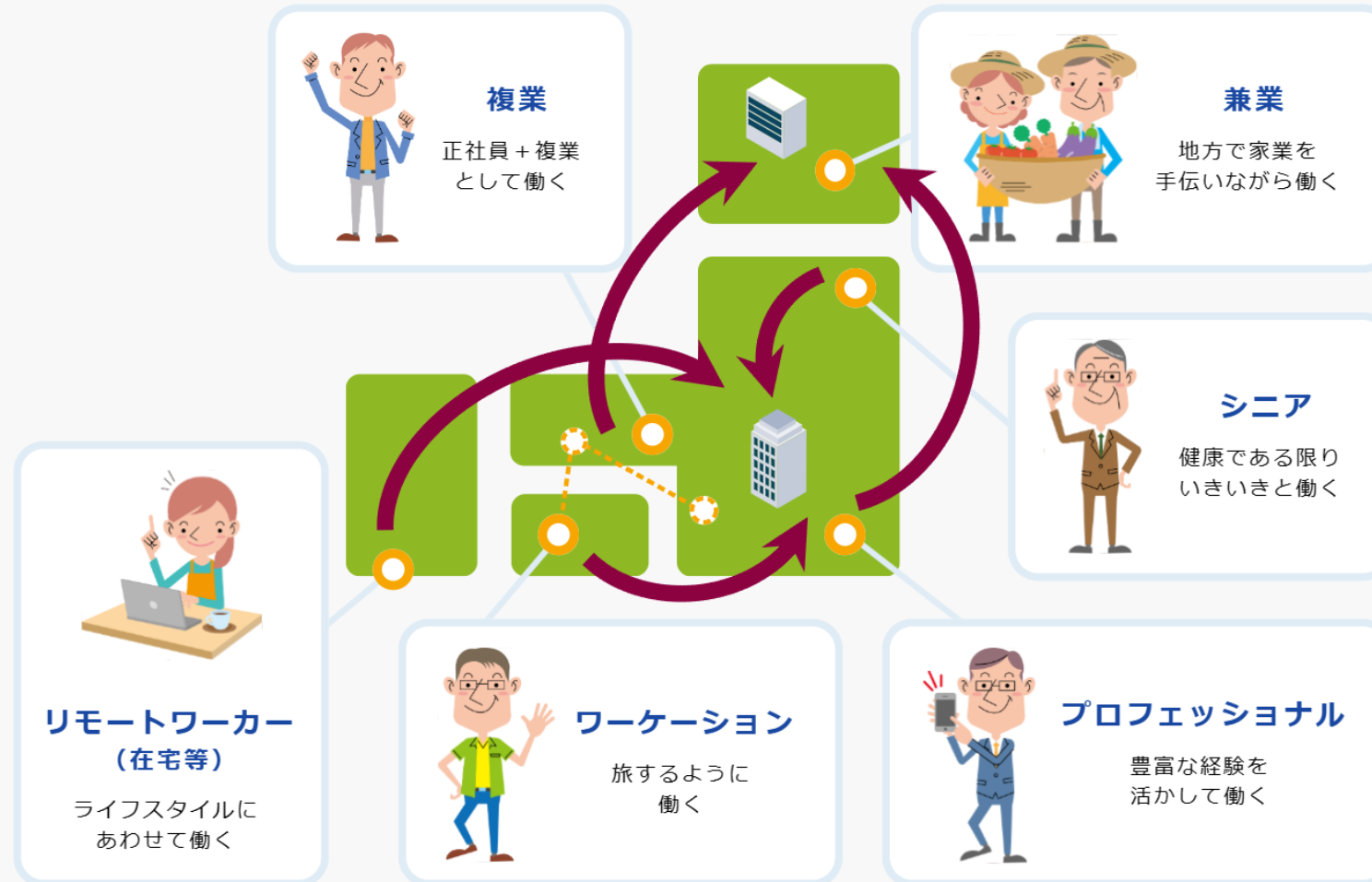
2014年10月～ 作家としても活動（兼業作家歴7年）

2021年10月、合同会社うさぎ企画、設立。



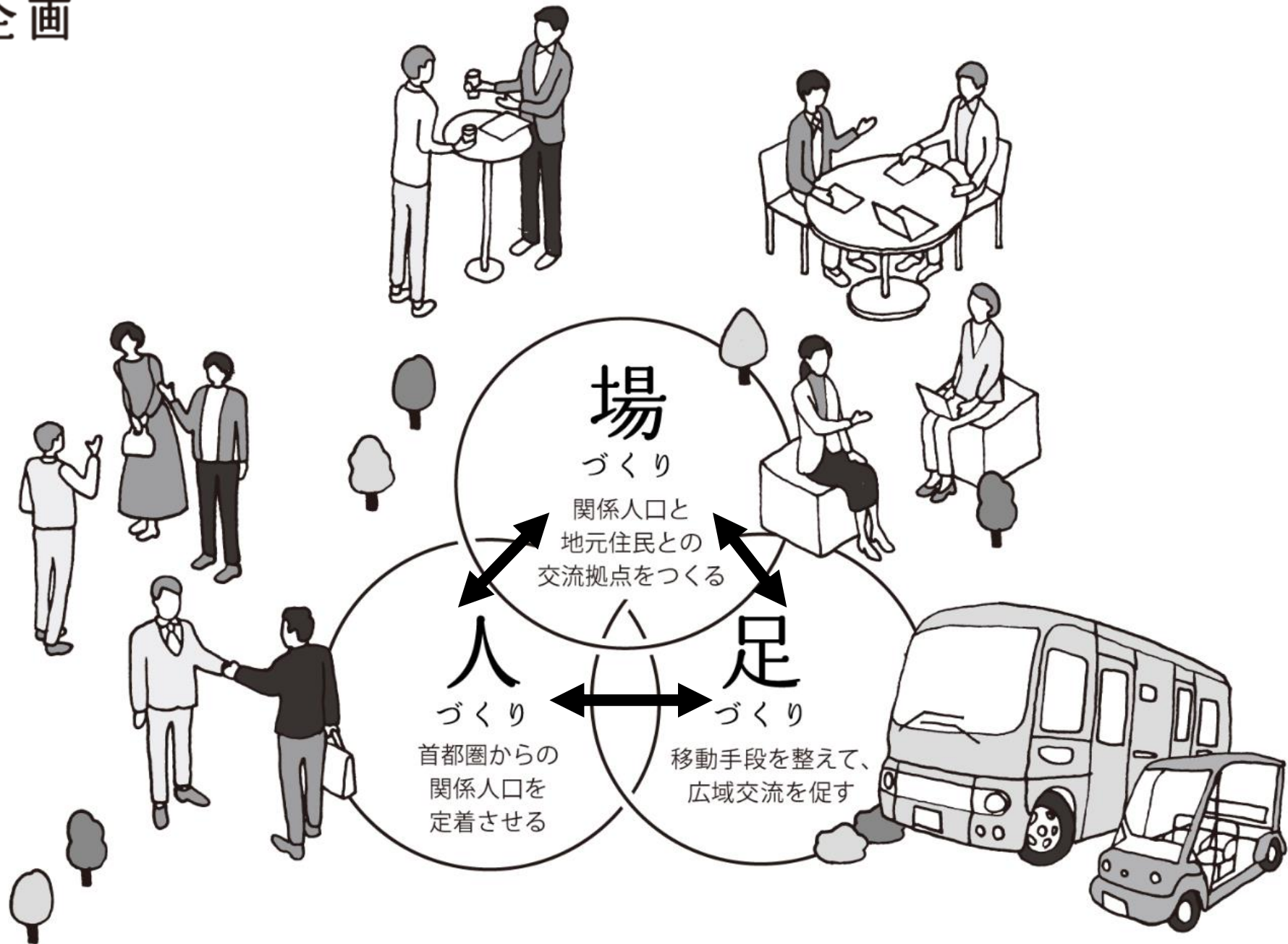
タレントシェアリング

(個人が主役で才能をシェアする多様な働き方)





うさぎ企画





複業人材 × 地方中小企業 → 課題解決と関係人口増で活性化

2022年度実施 焼津市内中小企業 × 複業人材マッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題

- ✓ EC含めた販路拡大
- ✓ 新規展開戦略立案
(コロナ禍による事業環境の激変)
- ✓ 管理職含めた社員教育
- ✓ 人事労務面の体制整備
(激変する事業環境への対応)
- ✓ デジタル化対応
(サービス高度化+合理化)
- ✓ 社長の壁打ち相手
(経営者自らの危機感)

複業人材の主なスキル

- マーケティング
- 広報宣伝
- 新規事業立案・推進
- 人事労務
- 販路拡大
- DX
- プロジェクトマネジメント



〈初日〉企業と複業人材の懇親会



〈2日目〉企業側の課題プレゼン



関係人口×地元プレイヤーの交流「部室」→さらなる活性化の基盤

伊豆高原「エクレアホール」 (Co-working/Satellite Officeの企画・運営)





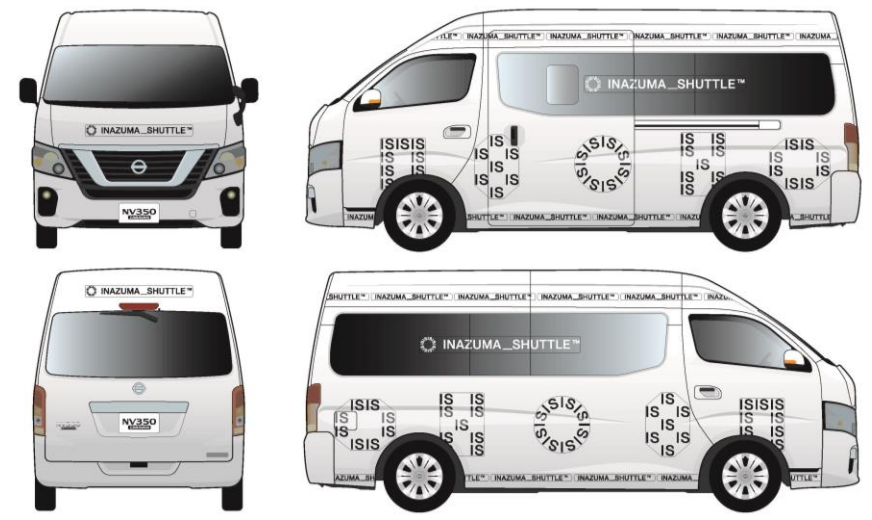
関係人口×モビリティサービス＝周遊・交流効果の最大化



関係人口×モビリティ実験（焼津市）



国交省：地域交通「リ・デザイン」研究会メンバー



交流型デマンド交通実験（東伊豆町） 39

行政・企業アドバイザーとしての活動

●行政アドバイザー

- ◆山梨県庁顧問（2022年度）
- ◆静岡県焼津市（2022年度）
- ◆静岡県東伊豆町（2022年度～）
- ◆静岡県湖西市（2022年度～）

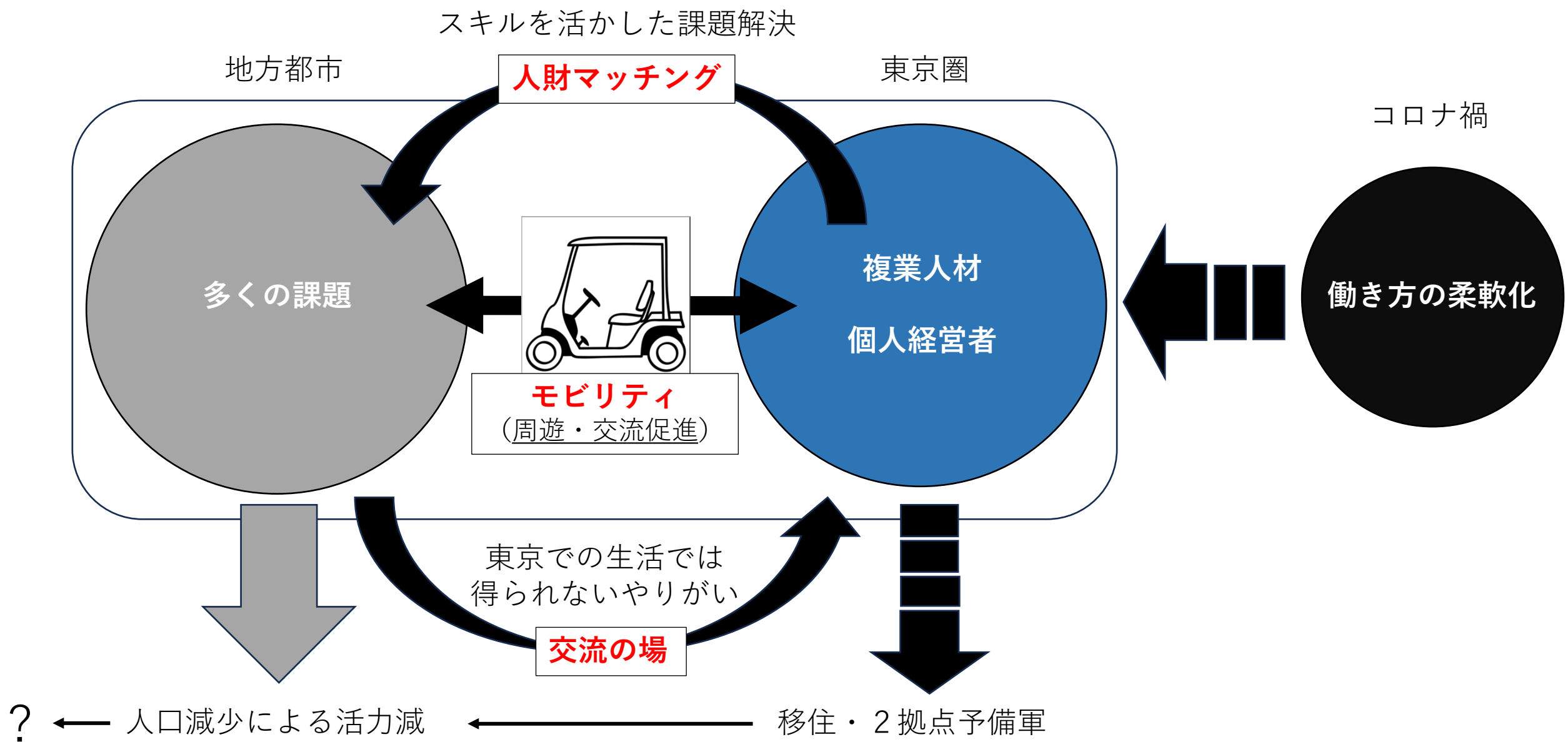


+

●企業等アドバイザー（現職のみ）

- ・（株）ヴァル研究所（都内）
- ・（株）TicketQR（長野県）
- ・（株）東平商会（静岡県）
- ・三島信用金庫（静岡県）
- ・Nexstokyo行政連携メンバー

うさぎ企画の価値観「一見さん1万人よりも面白い30人が町を元気に?!」



プレイヤー視点の「生活圏」 (行政境を越えたエリアユニット)

●人起点の社会づくりを考える上では必須

人口減少下での行政単位毎の生活インフラの見直し要請の中で、
歴史や風土も含めた、自然なつながりを持ったエリアユニットの成立可能性大

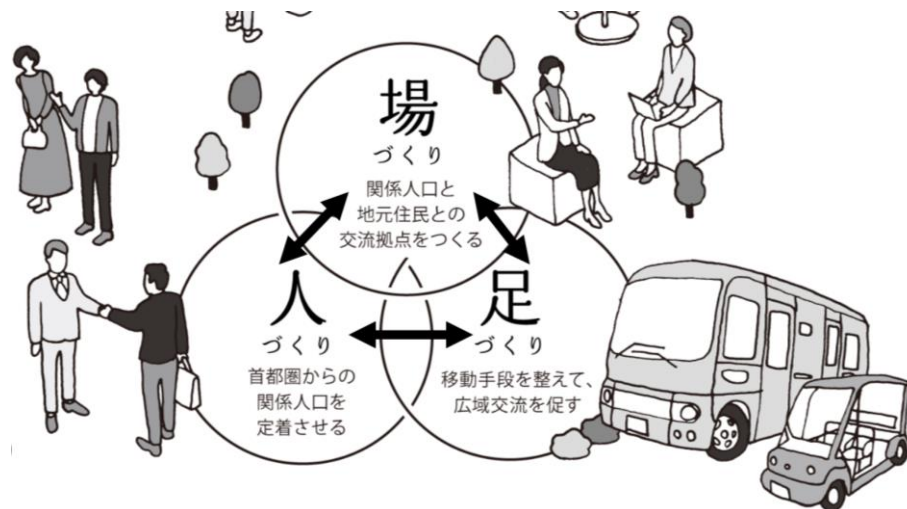
- ・ プレイヤー視点：移住したとしても、面白いところ、自分を活かせる近隣の街にはどこでもいく
- ・ 生活者視点：良い病院や商業施設があれば、行政境をまたいで移動する

●「生活圏」の成立要件は、

①行政境を越えたリーダーシップを持つ意思決定主体

+

②いつでもどこでも「仕事・交流・移動できる」環境 (後述)



③プレイヤー視点に立った「移住等」の再定義と、
定住以外の貢献人財に向けた行政制度のリデザイン

「生活圏」を取り巻くプレイヤーと行政とのギャップ

プレイヤー側

- 行政境・住所なんてどうでもいい
- 自分の能力発揮とやりがいを感じられることが全て
- 人と人とのつながりの中で生まれる共創やスケールが醍醐味
- すべての起点・意思決定は「自分・人」中心

大きなGAP



県庁も意外と仲裁できない
(平等性と地政学の問題)

行政側 (≒企業側)

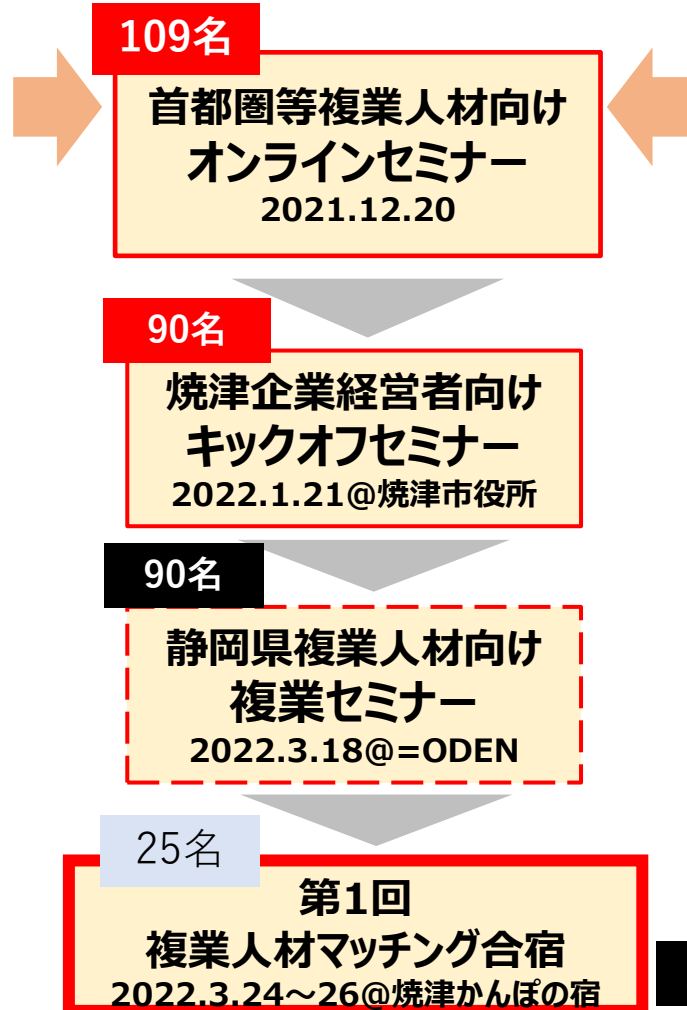
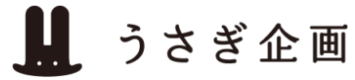
- 定住人口ファーストの価値観と制度設計
- 有能な人材はよその市町に取られる前に囲い込め
- 役所に縛り付けられているので、人材の流動性を理解できない
- 形だけの広域連携+バランス主義が生む「リーダー不在」のPJ

「生活圏」に向けて（「人づくり」事例：どこでも仕事できる環境づくり）

2021年度～：焼津市での複業人材×地元企業とのマッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題

- ◆ EC含めた販路拡大
- ◆ 新規展開戦略立案
(コロナ禍による事業環境の激変)
- ◆ 管理職含めた社員教育
- ◆ 人事労務面の体制整備
(激変する事業環境への対応)
- ◆ デジタル化対応
(サービス高度化+合理化)
- ◆ 社長の壁打ち相手
(経営者自らの危機感)



複業人材の主なスキル

- ◆ マーケティング
- ◆ 広報宣伝
- ◆ 新規事業立案・推進
- ◆ 人事労務
- ◆ 販路拡大
- ◆ DX
- ◆ プロジェクトマネジメント

過去3回で22社中20社でマッチング成立（9割）

第1回焼津ビジネスマッチング合宿（2022年3月24日～26日）



【初日】イントロダクション



【初日】企業側の自己紹介



【初日】複業人材側の自己紹介



【初日】企業×複業人材の懇親会

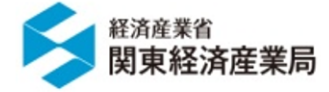


【2日目】企業側の課題プレゼン



【3日目】クロージング

人材活躍の後押し ～「地域の人事部」機能の構築～



- 「地域の人事部」とは、商工会、商工会議所、地域金融機関など地域の支援機関、自治体等がそれぞれの強みを活かし、一丸となって地域企業における「人的資本経営」の定着を目指す体制。
- 各構成機関がノウハウを持ち寄ることで、地域における「人材戦略支援」、「人材採用支援」、「環境整備支援」、「人材育成支援」などの人材支援プラットフォームとしての役割を期待。
- 管内8自治体（日立市、常陸太田市、大子町、松本市、塩尻市、長岡市、燕市、三島市）において「地域の人事部」の体制構築を実証中。

■「地域の人事部」構成機関

【燕市】
 地域事務局：株式会社つばめいと
 構成機関：燕市、燕商工会議所、第四北越銀行、協栄信用組合、三条信用金庫

【長岡市】
 地域事務局：株式会社ひとつぶ
 構成機関：長岡市、長岡商工会議所、第四北越銀行、長岡信用金庫、大光銀行

【松本市】
 地域事務局：松本商工会議所
 構成機関：松本市、松本ものづくり産業支援センター、八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫、信州大学

【塩尻市】
 地域事務局：NPO法人MEGURU
 構成機関：塩尻市、塩尻商工会議所、塩尻市振興公社、八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫、長野県信用組合、信州大学、松本大学

【三島市】
 地域事務局：三島信用金庫
 構成機関：三島市、三島商工会議所、静岡銀行、静岡新聞社

【日立市】
 地域事務局：（公財）日立地区産業支援センター
 構成機関：日立市、日立商工会議所、常陽銀行、(株)シカゼ

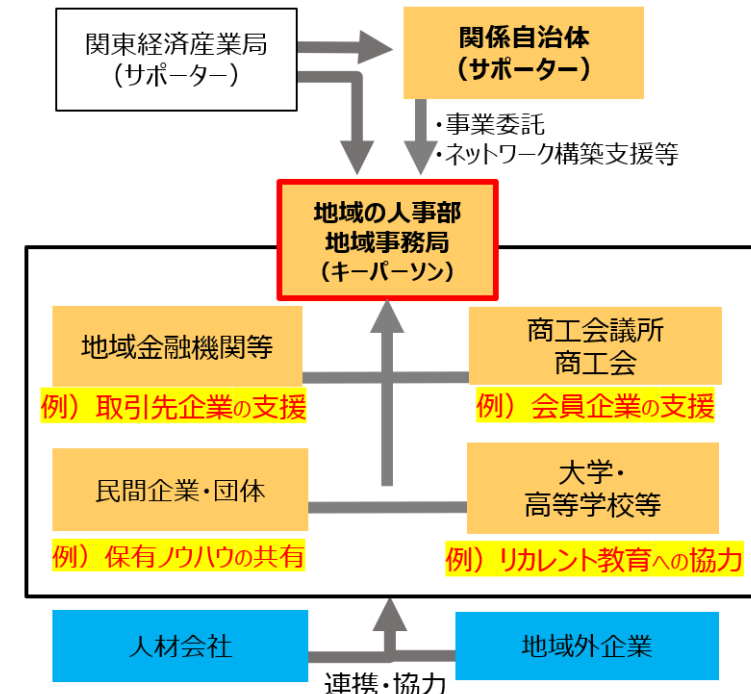
【常陸太田市】
 地域事務局：常陸太田市商工会
 構成機関：常陸太田市、常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫、茨城県信用組合、(株)シカゼ、(一社)いまぼくらと

【大子町】
 地域事務局：大子町商工会
 構成機関：大子町、常陽銀行、筑波銀行、茨城県信用組合、(株)シカゼ



※2023年9月時点の体制

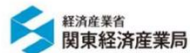
■「地域の人事部」体制イメージ



三島信金顧問として進める
 「地域の人事部」 in 三島市

「生活圏」に向けて（「人づくり」事例：経産省事業「地域の人事部」 in 三島市）

地域にプレイヤーが増えても、受け入れる地域企業側もアップデートしていかないと宝の持ち腐れ



地域の人事部

外部人材活用を見据えた 「経営課題言語化ワークショップ」

自分では分かっている気でも話しても、相手に伝わらないことはどなたにも経験があるはずです。経営者の方にとって、自社の経営課題を言葉にする機会は意外と少ないのではないでしょうか？



もし手ごわい経営課題を、第三者の力を使って解決しようとするならば、その経営課題を分かりやすく、誰にでも分かるように伝えることが第一歩となるはずです。

そんなありそうでなかった「経営課題言語化ワークショップ」、一緒にトライしてみませんか？

日程	令和5年9月13日（水） 14:00～15:30
対象	外部人材を活用した経営課題解決に関心のある事業者様（業種・業態を問わず、ご参加いただけます）
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 経営課題の言語化について 自社の経営課題を伝えてみよう 外部人材（複業人材）活用、人的資本経営について
講師	合同会社うさぎ企画 代表 森田 創 氏 （三島信用金庫アドバイザー）
会場	三島信用金庫 本部（駿東部長泉町下土狩96-3）
定員	最大15名
その他	裏面の「事前課題シート」をご記入のうえ、当日ご持参ください

三島信用金庫 M-Station うさぎ企画



【主催】経済産業省 関東経済産業局
令和5年度関東経済産業局における
地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業
【企画運営】株式会社ソナJOB HUB（事業受託会社）
【協力】三島地域の人事部

QRコードよりフォームに
アクセスの上、お申込みください

<https://forms.office.com/r/kmWSPpgQJK>



交流拠点「焼津PORTERS」の事業計画・PR・リーシングを含むPM業務



2023Spring Open!



担当業務

- プロマネ
- PR・イベント企画
- テナントリーシング

移住・二地域居住等促進のための方向案

デジタル田園都市国家構想の実現においては、地域の人口を増やす(減らない)ことと、住民の平均年齢を下げ、経済活動を活発にすることが重要になる。そのためには、地域産業の維持・活性化はもちろんのこと、さらなる施策として、**都市部の仕事を地方在住でも可能にする「テレワークによる移住」**に期待がかかる。ただ、すでにテレワークが可能なフリーランスかつ独身で、移住志向のある若い人材は、ひとつの地域に滞在する「移住」よりも、アドレスホッパーといわれる全国各地を転々とすることを望む傾向もある。

一方、コロナが増加している「テレワークが可能な家族」に注目してみると、「親子ワーケーション」や「保育園留学」など、「子どもに田舎を体験させたい」「自分たちも、自然の中で仕事をしたい」という親のニーズが見えてくる。しかし、実際には、子どもの教育(学校を休む)や、かかる費用の問題から、実施できる家族に限られたり、短期の滞在になったりする。このため、地域とのつながりまで至らず、「(観光気分のまま)次はどここの地域に行こうか」という家族も少なくない。そこで、まずは、**地方への「移住・二拠点居住」のハードルを低くし、リピート滞在を促すため、「テレワークが可能かつ、子どもが就業前の家族」にターゲットを絞ってはどうかと考えた。**

右の図は「地域への定住の壁」を乗り越えるための壁(ハードル)をイメージしている。この中の「長期滞在施策」について、「長期滞在施設の整備」「子どもの教育(保育)対策」「地域とのつながり醸成」を、北海道北見市で民間が実施した事例について、次ページでご紹介する。

地域への定住への壁

二地域居住施策

コストレスな二拠点め施設の整備(空き家の「シェア型ステイハウス」化など)

長期滞在施策

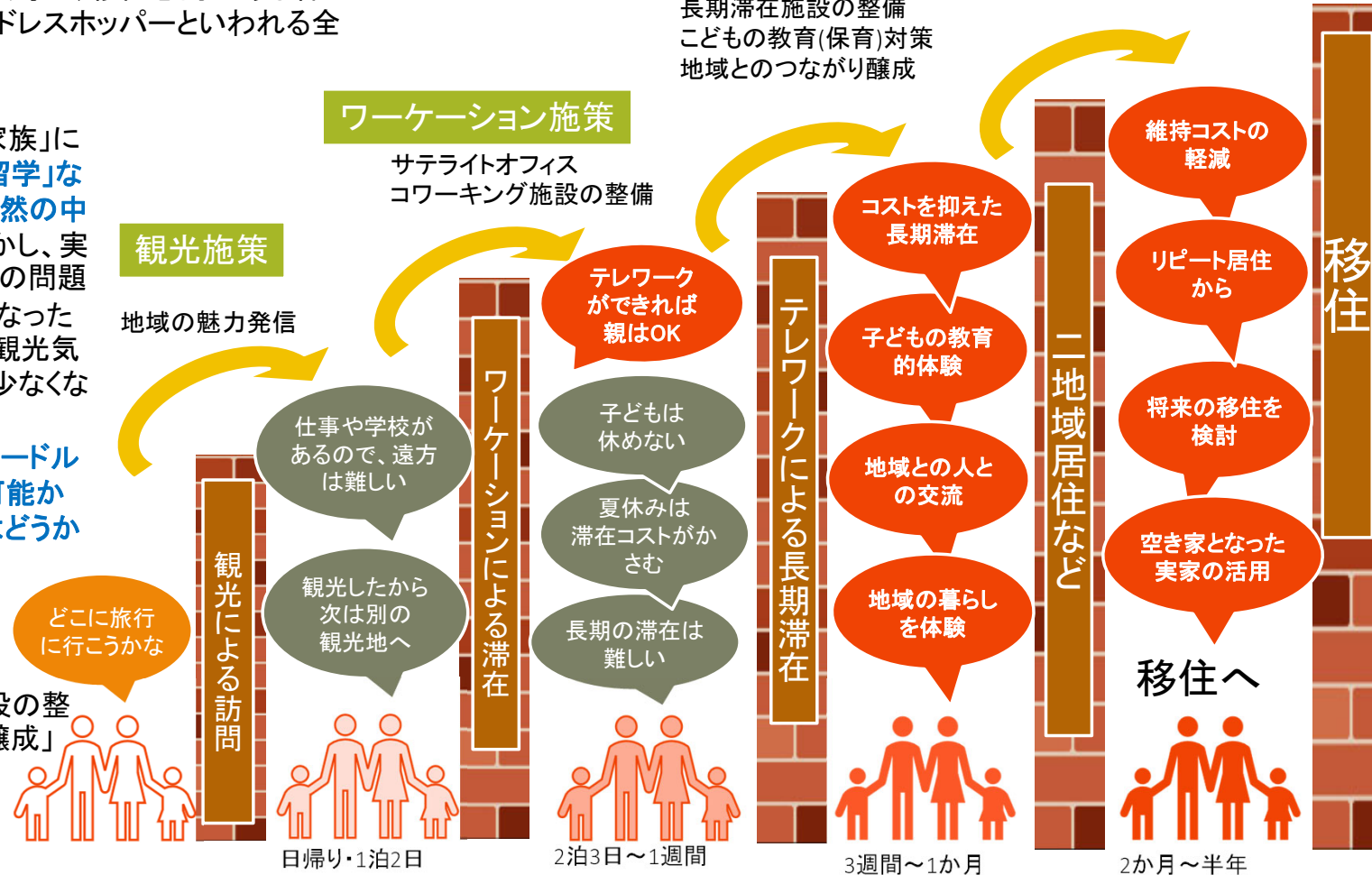
長期滞在施設の整備
子どもの教育(保育)対策
地域とのつながり醸成

ワーケーション施策

サテライトオフィス
コワーキング施設の整備

観光施策

地域の魅力発信

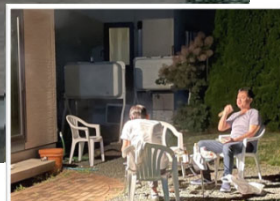
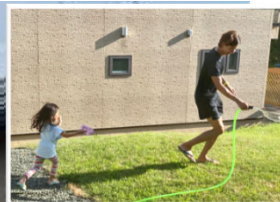


移住・二地域居住等促進のための実証事例

2023年7月、テレワークが可能なご夫婦と4歳娘のファミリーが、北海道北見市に3週間滞在。目的は、「子どもにさまざまな体験をさせたい」「全国の地域の暮らしを体験したい」。保育の「広域利用」を活用し、鴨川市の幼稚園から、滞在期間中は北見市の認定こども園に通園(無料)。滞在場所は、空き家だった家を活用。3週間の滞在で10万円(実験価格)。長期滞在のため、平日の地域イベント参加や、週末の地域での観光や体験を満喫。空き家の所有者が首都圏在住でもリモート管理(施錠・案内など)ができるしくみも実験中。

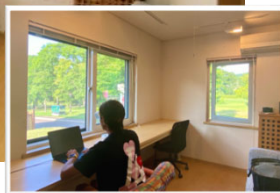
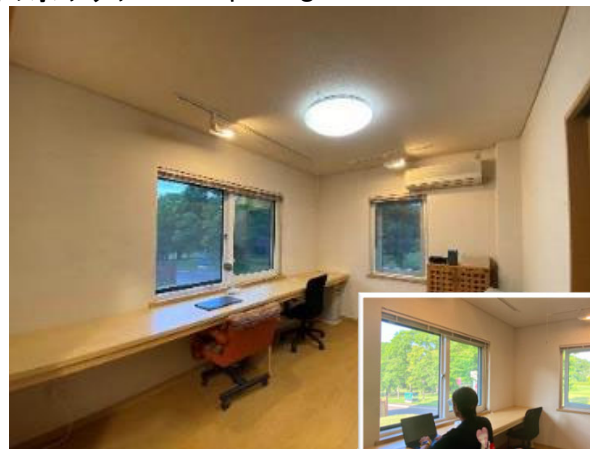


地域の「シェア型ステイハウス」のモデルとして、地元の民間企業が運営予定。現在、簡易宿泊施設として申請中。



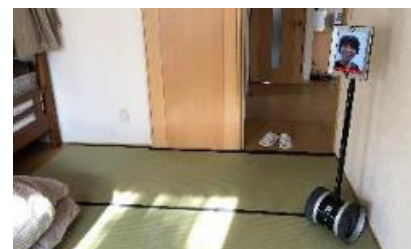
平日は4歳のお子さんが北見市のこども園へ通園(広域利用で無料)

20年間空き家だった一軒家の平屋(2LDK)。庭で芝の水やりやバーベキューも



家族で過ごすリビング

テレワークのための部屋



ロボットを使ってリモートでお迎え

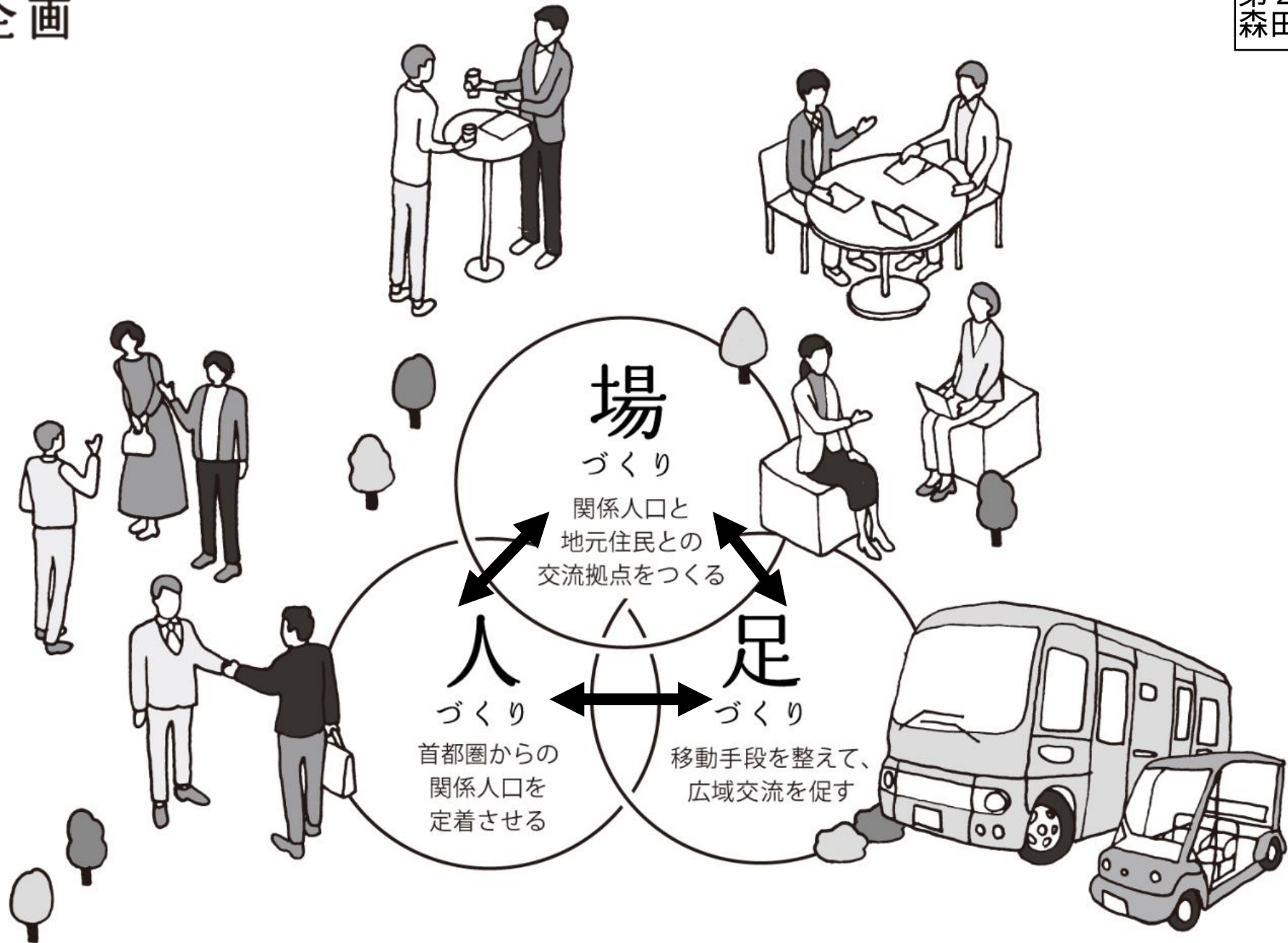


ママは、地域の交流イベントに参加

地域の農家さんと野菜収穫体験



うさぎ企画





複業人材 × 地方中小企業 → 課題解決と関係人口増で活性化

2022年度実施 焼津市内中小企業 × 複業人材マッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題

- ✓ EC含めた販路拡大
- ✓ 新規展開戦略立案
(コロナ禍による事業環境の激変)
- ✓ 管理職含めた社員教育
- ✓ 人事労務面の体制整備
(激変する事業環境への対応)
- ✓ デジタル化対応
(サービス高度化+合理化)
- ✓ 社長の壁打ち相手
(経営者自らの危機感)

複業人材の主なスキル

- マーケティング
- 広報宣伝
- 新規事業立案・推進
- 人事労務
- 販路拡大
- DX
- プロジェクトマネジメント



〈初日〉企業と複業人材の懇親会



〈2日目〉企業側の課題プレゼン



関係人口×地元プレイヤーの交流「部室」→さらなる活性化の基盤

伊豆高原「エクレアホール」(Co-working/Satellite Officeの企画・運営)





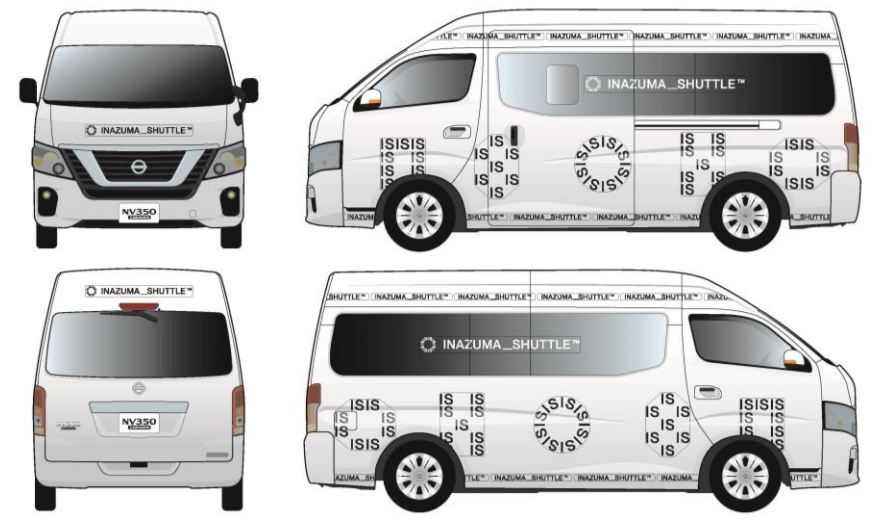
関係人口×モビリティサービス＝周遊・交流効果の最大化



関係人口×モビリティ実験（焼津市）



国交省：地域交通「リ・デザイン」研究会メンバー



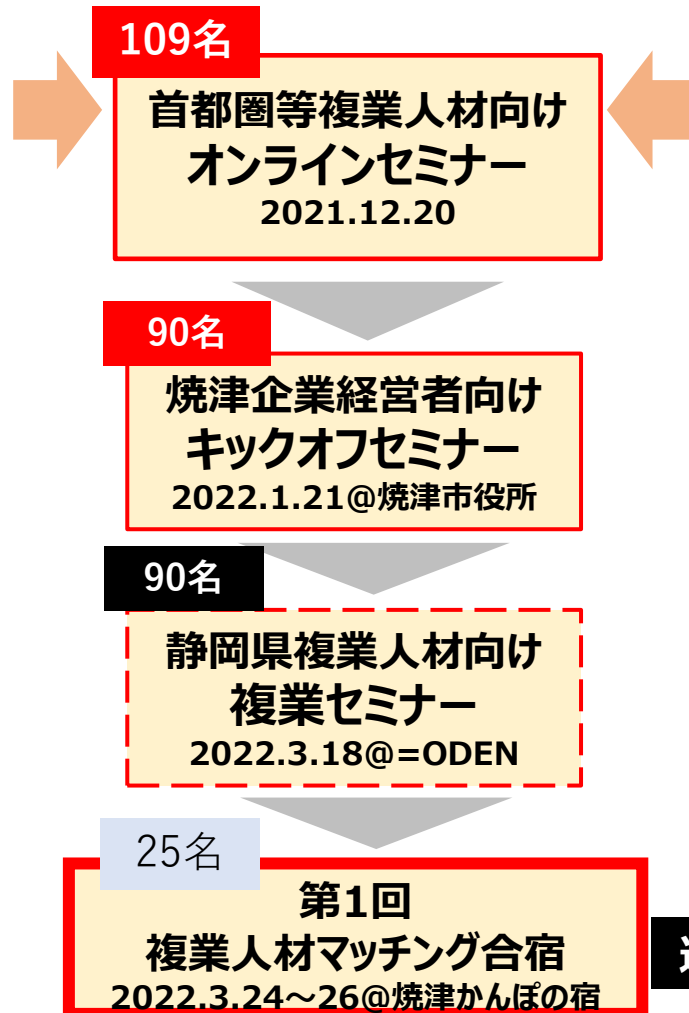
交流型デマンド交通実験（東伊豆町） 54

「人づくり」事例：どこでも仕事できる環境づくり

2021年度～：焼津市での複業人材×地元企業とのマッチング合宿

焼津市内企業の主な経営課題

- ◆ EC含めた販路拡大
- ◆ 新規展開戦略立案
(コロナ禍による事業環境の激変)
- ◆ 管理職含めた社員教育
- ◆ 人事労務面の体制整備
(激変する事業環境への対応)
- ◆ デジタル化対応
(サービス高度化+合理化)
- ◆ 社長の壁打ち相手
(経営者自らの危機感)



複業人材の主なスキル

- ◆ マーケティング
- ◆ 広報宣伝
- ◆ 新規事業立案・推進
- ◆ 人事労務
- ◆ 販路拡大
- ◆ DX
- ◆ プロジェクトマネジメント

過去3回で22社中20社でマッチング成立 (9割)

第1回焼津ビジネスマッチング合宿 (2022年3月24日～26日)



【初日】イントロダクション



【初日】企業側の自己紹介



【初日】複業人材側の自己紹介



【初日】企業×複業人材の懇親会



【2日目】企業側の課題プレゼン



【3日目】クロージング

人材活躍の後押し ～「地域の人事部」機能の構築～

- 「地域の人事部」とは、商工会、商工会議所、地域金融機関など地域の支援機関、自治体等がそれぞれの強みを活かし、一丸となって地域企業における「人的資本経営」の定着を目指す体制。
- 各構成機関がノウハウを持ち寄ることで、地域における「人材戦略支援」、「人材採用支援」、「環境整備支援」、「人材育成支援」などの人材支援プラットフォームとしての役割を期待。
- 管内8自治体（日立市、常陸太田市、大子町、松本市、塩尻市、長岡市、燕市、三島市）において「地域の人事部」の体制構築を実証中。

■「地域の人事部」構成機関

【燕市】
地域事務局：株式会社つばめいと
構成機関：燕市、燕商工会議所、第四北越銀行、協栄信用組合、三条信用金庫

【長岡市】
地域事務局：株式会社ひとつぶ
構成機関：長岡市、長岡商工会議所、第四北越銀行、長岡信用金庫、大光銀行

【松本市】
地域事務局：松本商工会議所
構成機関：松本市、松本ものづくり産業支援センター、八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫、信州大学

【塩尻市】
地域事務局：NPO法人MEGURU
構成機関：塩尻市、塩尻商工会議所、塩尻市振興公社、八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫、長野県信用組合、信州大学、松本大学

【三島市】
地域事務局：三島信用金庫
構成機関：三島市、三島商工会議所、静岡銀行、静岡新聞社

【日立市】
地域事務局：（公財）日立地区産業支援センター
構成機関：日立市、日立商工会議所、常陽銀行、(株)シカゼ

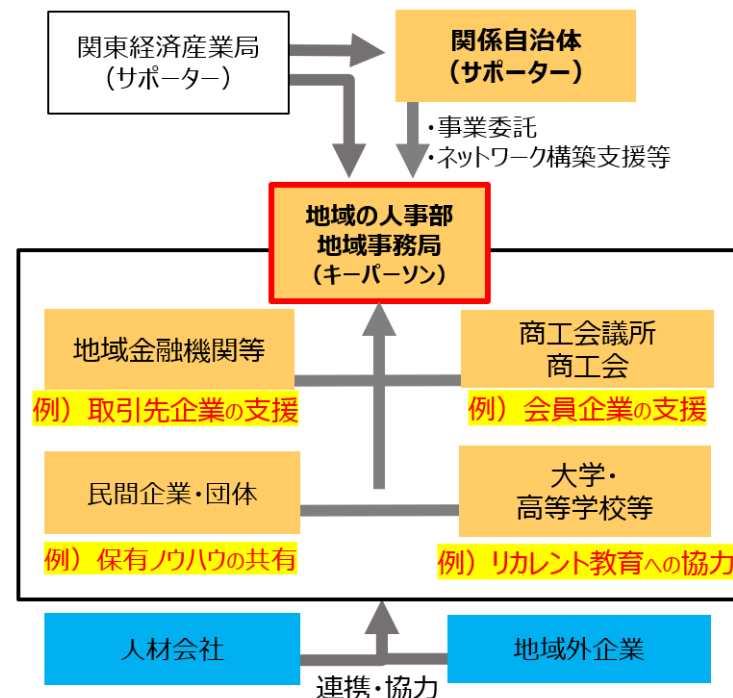
【常陸太田市】
地域事務局：常陸太田市商工会
構成機関：常陸太田市、常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫、茨城県信用組合、(株)シカゼ、(一社)いまほくらと

【大子町】
地域事務局：大子町商工会
構成機関：大子町、常陽銀行、筑波銀行、茨城県信用組合、(株)シカゼ



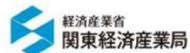
※2023年9月時点の体制

■「地域の人事部」体制イメージ



三島信金顧問として進める
「地域の人事部」 in 三島市

地域にプレイヤーが増えても、受け入れる地域企業側もアップデートしていかないと宝の持ち腐れ



地域の人事部

外部人材活用を見据えた 「経営課題 言語化ワークショップ」

自分では分かっている気でも、相手に伝わらないことはどなたにも経験があるはずです。経営者の方にとって、自社の経営課題を言葉にする機会は意外と少ないのではないでしょうか？



もし手ごわい経営課題を、第三者の力を使って解決しようとするならば、その経営課題を分かりやすく、誰にでも分かるように伝えることが第一歩となるはずです。

そんなありそうでなかった「経営課題言語化ワークショップ」、一緒にトライしてみませんか？

日程	令和5年9月13日(水) 14:00~15:30
対象	外部人材を活用した経営課題解決に関心のある事業者様 (業種・業態を問わず、ご参加いただけます)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 経営課題の言語化について 自社の経営課題を伝えてみよう 外部人材(複業人材)活用、人的資本経営について
講師	合同会社うさぎ企画 代表 森田 創 氏 (三島信用金庫アドバイザー)
会場	三島信用金庫 本部 (駿東部長泉町下土狩96-3)
定員	最大15名
その他	裏面の「事前課題シート」をご記入のうえ、当日ご持参ください

三島信用金庫 M-Station うさぎ企画



【主催】経済産業省 関東経済産業局
令和5年度関東経済産業局における
地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業
【企画運営】株式会社ソナJOB HUB (事業受託会社)
【協力】三島地域の人事部

QRコードよりフォームに
アクセスの上、お申込みください

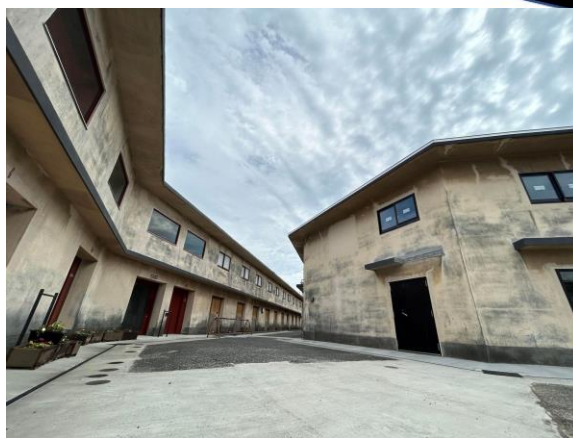
<https://forms.office.com/r/kmWSPpgQJK>



交流拠点「焼津PORTERS」の事業計画・PR・リーシングを含むPM業務



2023Spring Open!



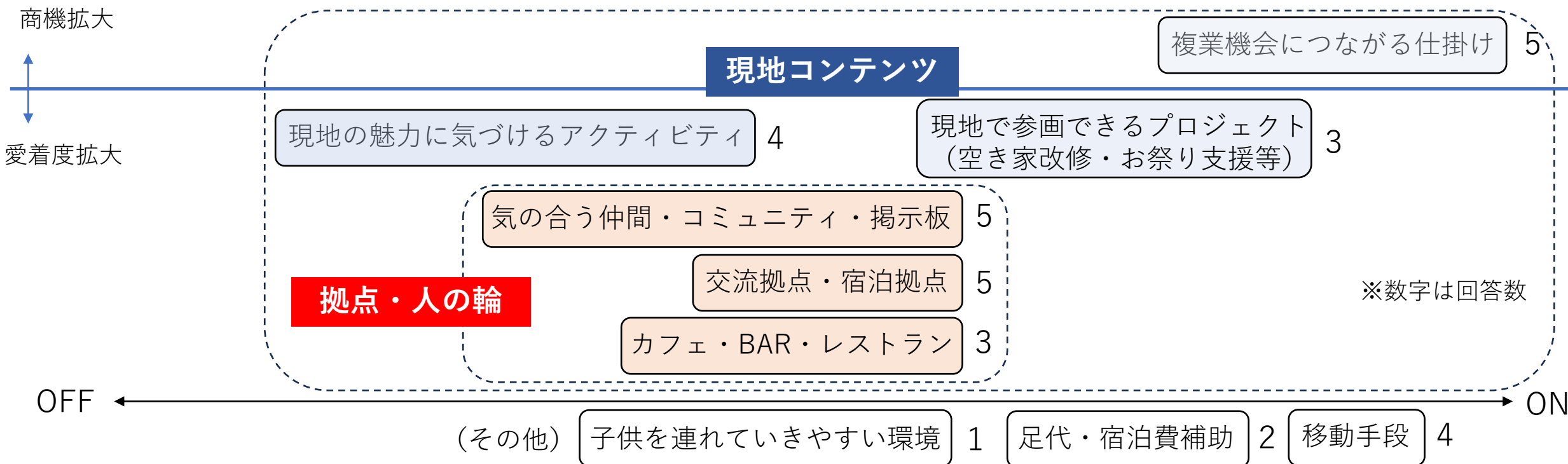
担当業務

プロマネ
PR・イベント企画
テナントリーシング

第3章：実施方針（ターゲット層の分析②）

【質問】 複業先の地域にもっと頻度多く通うための条件や希望する仕掛けがあれば教えてください

- 回答者：10名（対象：焼津など県内の複業人材マッチングに参加した人材・今後参加しそうなプレイヤー）
- 意見総数：27名（複数回答あり：詳細はP18ご参照）
- 調査方法：当社からのメールベースでのヒアリング

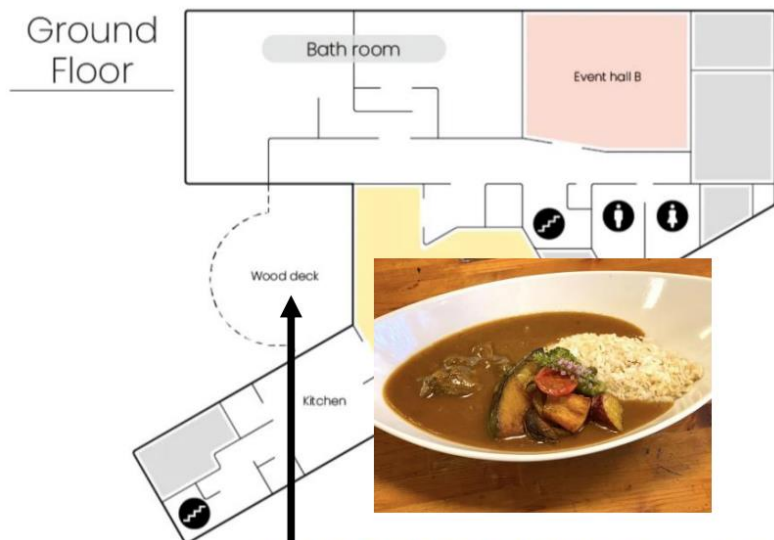


■ 複業人材のターゲット層の定着条件の仮説

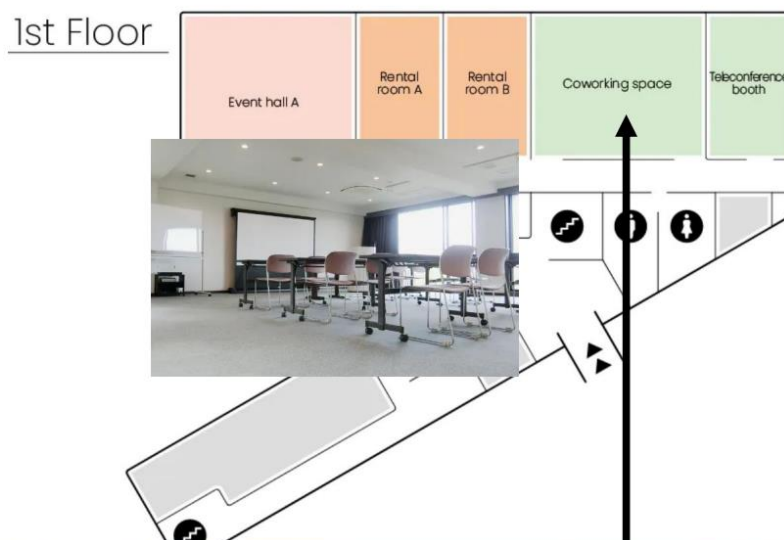
- ①： 複業先企業が増えるなど、人材側の商機拡大につながるコンテンツ（経済的価値を求める人材向け）
- ②： プロジェクトやアクティビティを通じて土地の魅力に気づける機会（情緒的価値を求める人材向け）
- ③： 交流拠点やコミュニティ等を通じて土地の魅力に気づける機会（②に含まれる）



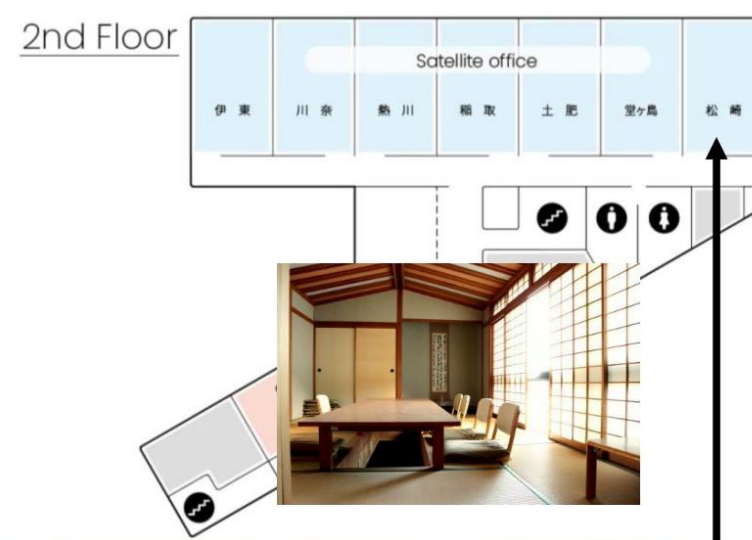
エクレアホール：施設構成



オープンスペース



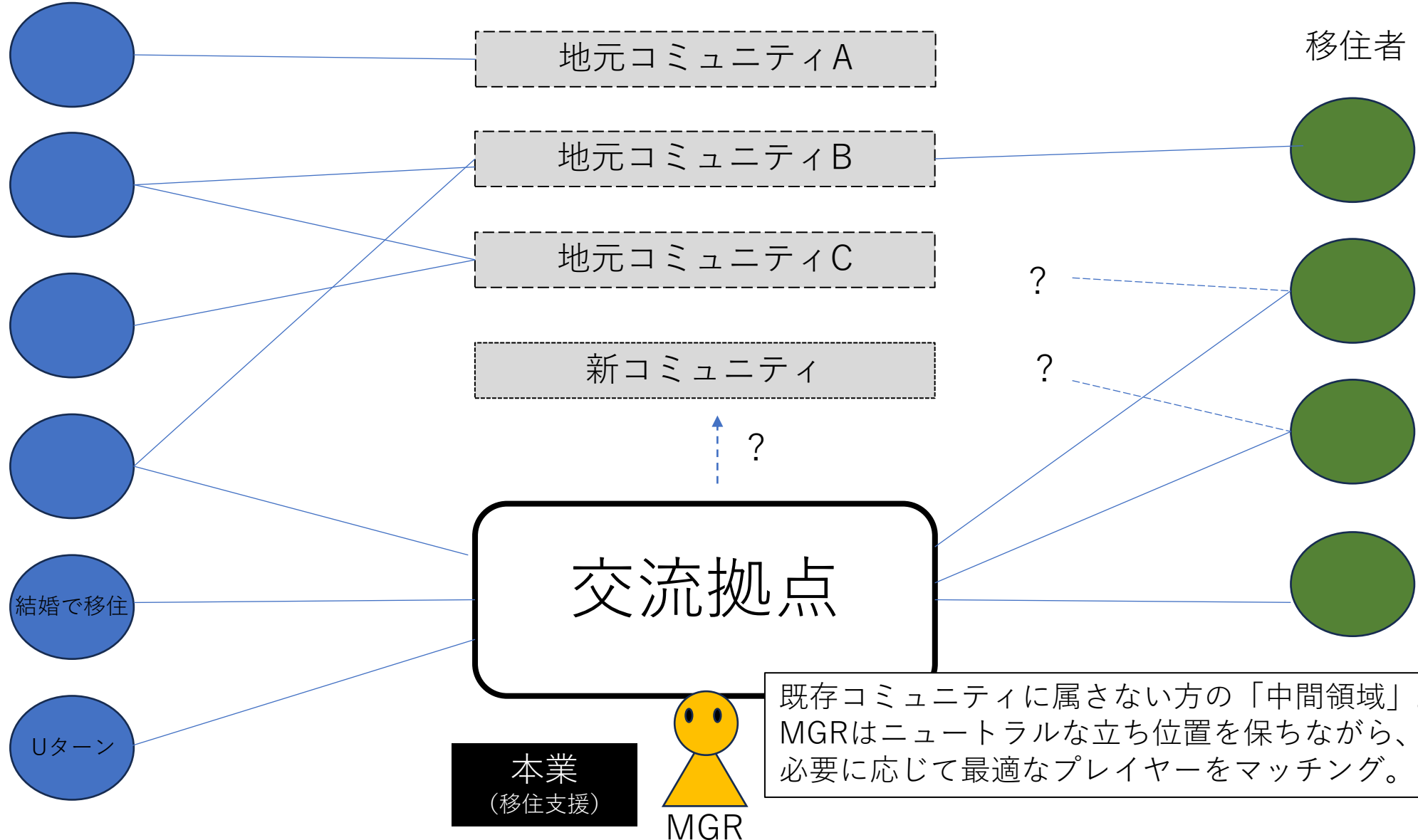
コワーキングスペース



サテライトオフィス

【交流拠点の役割】

地元民



移住者

地元コミュニティA

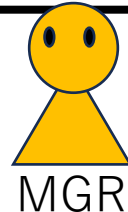
地元コミュニティB

地元コミュニティC

新コミュニティ

交流拠点

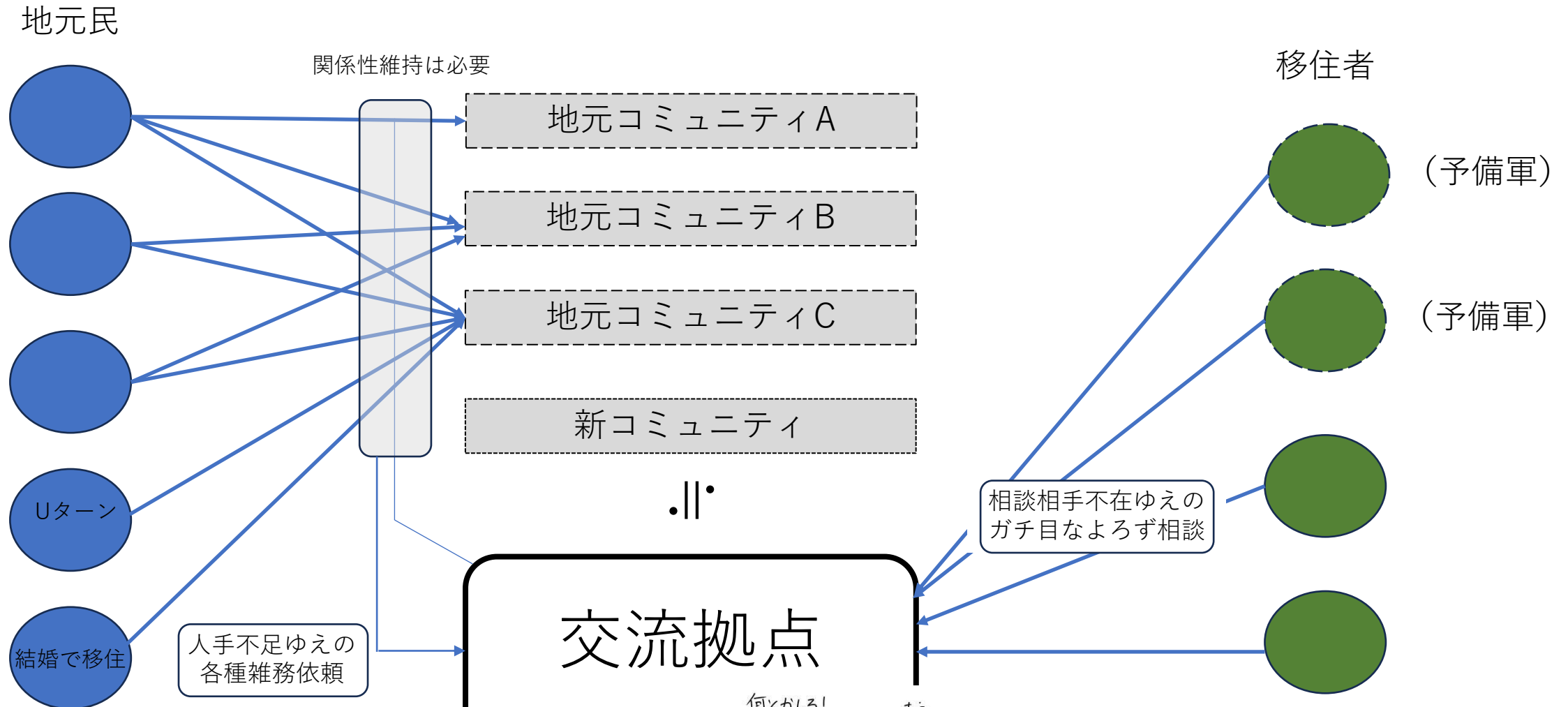
本業
(移住支援)



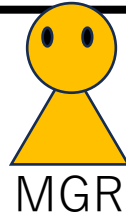
MGR

既存コミュニティに属さない方の「中間領域」。MGRはニュートラルな立ち位置を保ちながら、必要に応じて最適なプレイヤーをマッチング。

【交流拠点の役割（過疎型）】



本業
(地域課題解決)

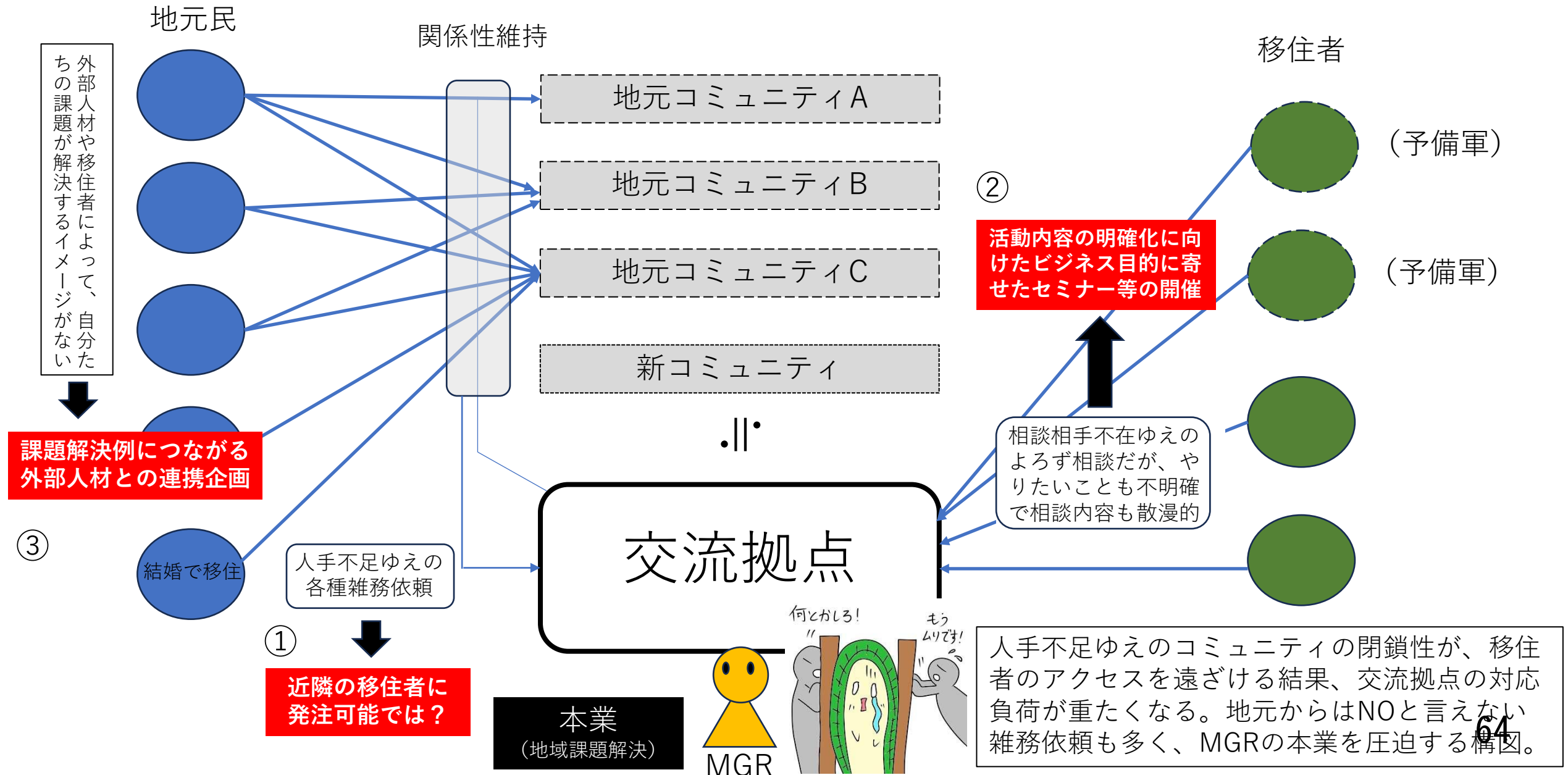


MGR



人数不足によるコミュニティの閉鎖性が、移住者のアクセスを遠ざけ、交流拠点の対応負荷が重たくなる。地元からはNOと言えない雑務の依頼も多く、MGRの本業を圧迫する構図。

【交流拠点の役割（過疎型）への対応策】



「足づくり」事例（2022年度・焼津での交流型モビリティ実験）

●2023年1月16日～2月28日（平日12時～17時50分・31営業日・1日乗り放題500円）

モビリティチケット購入者173（5.6人/日）、乗車回数520（3回/人）、停留所来訪数601（3.5カ所）

グリスロ走行エリアと停留所（23カ所）

●停留所 ※数字は停留所番号

焼津市観光協会
焼津市の観光情報発信！
電動自転車の貸出＆返却場所です。

エイトコーヒー
コーヒーからフードまで昭和レトロなメニューが楽しめる種喫茶。

エキチカ温泉・くろしお温泉やサウナだけでなく、食堂・読書室・仮眠室などもある一日中楽しめる温泉。

ふわふわっふる
甘すぎないクリームとフワフワ生地のワッフルが食べられるワッフル専門店。

焼津神社
ヤマトケル/ミコを祀る本堂から境内の通りまで幅広い長らくに愛される神社。

焼津商工会議所
地元工業者の代表として会員の要望をまとめ、行政・関係団体へ働きかける。

CheesePige 焼津本店
厳選した北海道クリームチーズをクッキーでサンドしたチーズサンドのお店。

SANOWA
創業70年の老舗茶屋「丸玉国」の新ブランド。お茶を使った和スイーツは女子に人気。

サス工前田魚店
地元「焼津」で創業60年を迎える老舗の魚屋。こだわりの包丁使いは国内でも有名。

焼津PORTERS
今春、リノベで生まれ変わる予定の飲食・宿泊機能を備えたデラックส์拠点施設。

長倉新聞店
街の情報発信基地としての役割を果たしてゆく焼津の新聞店。

Homebase Yaizu
商店街の空き店舗をリノベーションしたコワーキングスペース。

みんなの図書館さんかく
自由に本を借りられる私設図書館。紹介したい本を発行できる制度も実施中。

TUNALABO
国産ツナ缶発祥の焼津でしか作れないツナを製造販売。試食を通じて購入可能。

焼津市役所
暮らし、健康、教育、産業、観光、焼津市民の窓口。7階から見る焼津港と富士山は絶景。

帆や
再生した明治時代の古民家を多目的に利用できる施設。宿泊も可能。

うみしる
伝統漁業や焼津の漁業文化や特産品など、様々なことが学べる施設。

うみえ～る焼津
海産物や土産品の販売だけでなく、2箇所の食事場では新鮮な魚をいただける。

丸又直売店
焼津名産の里はべん、体にやさしい様々な商品を販売。

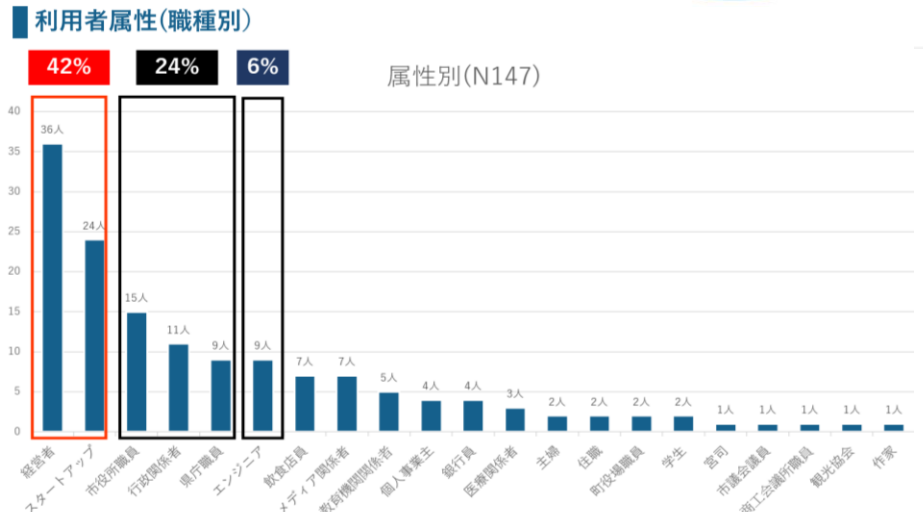
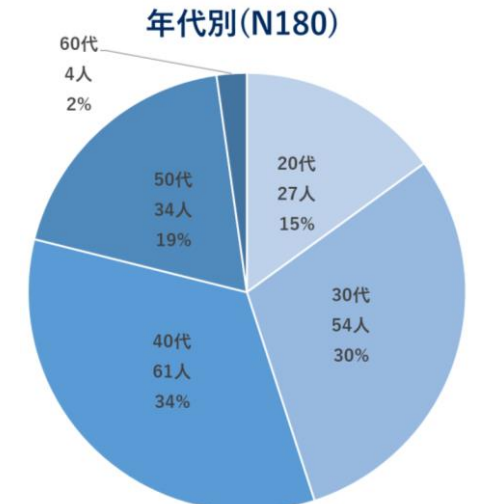
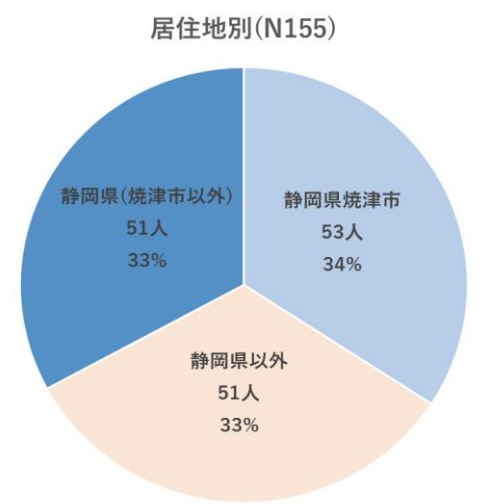
御菓子司 角屋
焼津名物のかつおサブレとみまんじゅうがいただける和洋菓子のお店。

柳屋本店
産直調達から商品づくりまで、素材、製法すべてにこだわった産直を提供。

岩崎药局
味がよく、みずみずしい食感が楽しめるこんにゃく店。

焼津冷蔵直売所
全国の漁港、産地からベストな魚を選び、皆様にお届け。さば寿司は絶品！

4人乗り1台



ビジネス交流 MaaS活用

うさぎ企画、焼津で実験へ

AIが相手提案 面会場所まで迅速配車

焼津で公共交通を補い交流実験

複業人材交流 EVでGo!

ビジネスマンモング 焼津で来月実証実験

アプリと移動手段 組み合わせ

交流拠点の中核人材として期待する経営者やスタートアップ層が利用者の42%を占め、停留所となった直売所では10万円超の経済効果も観測されるなど、グリスロ×交流による市内活性化の萌芽が見られた

「足づくり」事例（2023年度・焼津での交流型モビリティ実験）

登録者15万人の焼津市LINEをプラットフォームとしたワンストップ配車予約と交流イベント等の告知



焼津市LINEトップページからリンクボタンを押下



専用アプリトップページに遷移。利用者登録等を行う



地図上から目的地の停留所を選んだ上で配車予約する



配車予約完了画面



拠点でのイベント告知画面
(矢印を押すと詳細表)